

業 績 集

2018年4月～2019年3月

2019年4月～2020年3月

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
先進治療科学専攻感覚器病学講座
皮膚科学

業績集発刊にあたって

— 時間と向き合う —

今回の業績集は2018年4月から2020年3月の二年間の業績を収める。この間、昨年5月1日に平成から令和へと時代は引き継がれた。私は平成時代を30歳、令和時代を60歳で迎えた。昭和と平成を等しく30年ずつ生きたことになる。しかし平成の30年間は昭和のそれよりはるかに短く感じる。

時の過ぎるのが年々早くなることは誰しもが感じることである。これは同じ期間が人生に占める割合で説明できると思っていた。例えば小学校を卒業する12歳の少年にとって小学校の6年間は人生の半分を占める。それに対し還暦を迎えた者にとって6年間は人生の一割に過ぎない。30歳の自分にとって昭和の30年間は人生のすべて、今の自分にとって平成時代は人生の半分に満たない。そういう理屈である。しかし昭和と平成の長さの感覚的違いはそれだけではないような気がする。

鹿児島から東京へ行くのに昭和時代、少なくとも昭和40年代までは列車でほぼ一日がかりであったが平成には飛行機で一時間半、時間が濃密になった。製品の開発も同じである。テレビ、冷蔵庫、洗濯機が広まった時の時間の経過と、コンピューター、インターネット、スマートフォンが普及する勢い、これは明らかに後者が早い。米国の発明家にして実業家のレイモンド・カーツワイルはコンピューターの性能は指数関数的に進歩すると指摘する。ほぼ同じことを1960年代のトランジスタの開発に際してインテル社の創業者ゴードン・ムーアが自らの論文に記述しており「ムーアの法則」として知られる。指数関数的進化は真実のようである。従って同じ時間の中で起こる出来事、変化の量が圧倒的に増える。その結果一つ一つのイベントに対する意識あるいは記憶が相対的に軽くなってきているように感じる。昭和の時代、家に冷蔵庫やカラーテレビが入った日は記憶に鮮明である。しかし、平成時代は個々の出来事の印象が薄い。変化が速過ぎる、日々が慌ただし過ぎる、このあたりにも平成の30年を短く感じる理由がありそうである。平成の時代を生きていると、ともすれば時間に追われてしまうと実感することが多かった。これは仕事でも日々の生活でも決して好ましいことではない。

時間さえあれば何かしら本を読んでいる。時に長編を読みたくなる。令和の初めに読んだのが井上ひさしの「四千万歩の男」である。初めて実測に基づく日本地図を製作した伊能忠敬の測量行を、小説ならではの事件を絡めて描いた長編小説である。忠敬は自らの足で全国を歩き地図を描き連ねていった。二歩で一間（約1.8メートル）の歩幅を守って距離を測り、歩く方向が変わるたびに羅針儀で方角を正確に測定し記録を重ねた。総歩数は十六年間で四千万歩、距離にして九千里。濃密な時間であったらと思う。令和の時代にそのような作業は現実的ではないが、時間と向き合う心の持ち様は参考になると思っている。

学問も忠敬の地図作りと通ずるところがあるように思う。一步一步地道に努力を重ねて成果を生み出す。その成果を論文として記録に残す。時間に流されることなくそれを繰り返す。二年間の教室員の努力の跡をまとめて発刊する。それぞれの思いでそれぞれの時間を振り返り何かを感じ取ってほしい。

2020年4月
金蔵拓郎

目 次

業績集発刊にあたって	1
------------------	---

業 績

2018 (H30) 年4月～2019 (H31) 年3月

I. 著 書	8
II. 総 説	9
III. 原 著	10
IV. その他	13
V. 学会発表	14
VI. 社会への貢献 (マスメディア等)	26
VII. 学会・講演会などの開催	27
VIII. 学会活動	28
IX. Journal Review	30
X. 学内活動	30
XI. 学生講義	31
XII. 社会活動	33
XIII. 文部省科学省科学研究費等取得	34
XIV. 特 許	35
XV. 受 賞	35
XVI. 学位取得者	35
XVII. 専門医取得者	35
XVIII. 教室員の動向	36

2019 (H31) 年4月～2020 (R2) 年3月

I. 著 書	41
II. 総 説	42
III. 原 著	43
IV. その他	46
V. 学会発表	47
VI. 社会への貢献 (マスメディア等)	60
VII. 学会・講演会などの開催	61
VIII. 学会活動	62
IX. Journal Review	64
X. 学内活動	64
XI. 学生講義	65
XII. 社会活動	67
XIII. 文部省科学省科学研究費等取得	67
XIV. 特 許	67
XV. 受 賞	68
XVI. 学位取得者	68
XVII. 専門医取得者	68
XVIII. 教室員の動向	69

2018 (H30) 年 4 月～2019 (H31) 年 3 月

I. 著 書

【欧文著書】

ナ シ

【和文著書】

- 1) 学会ハイライト 第47回日本皮膚アレルギー・摂食皮膚炎学会総会学術大会
第41回皮膚脈管・膠原病研究会を終えて
(平成29年12月8日(金)～10日(日), かがしま県民交流センター)
金蔵拓郎
皮膚病診療 40 (7) : 735-738 (2018.7)
- 2) 皮膚T細胞リンパ腫
河井一浩
皮膚疾患最新の治療 2019-2020 : 225-227 (2019.1)

Ⅱ．総説

【欧文総説】

- 1) New Therapies and Immunological Findings in Cutaneous T-Cell Lymphoma.
Fujii K.
Front. Oncol. 8: 198 (2018.6)
- 2) Clinical and immunological effects of adsorptive myeloid lineage leukocyte apheresis in patients with immune disorders.
Kanekura T.
J. Dermatol. 45(8): 943-950 (2018.8)

【和文総説】

- 1) 【血管性浮腫の基礎と臨床 アップデート】 Angioedema with eosinophilia
東 裕子
アレルギー・免疫 25 (9) : 1186-1190 (2018.8)

Ⅲ. 原 著

【欧文原著】

- 1) HSP72 functionally inhibits the anti-neoplastic effects of HDAC inhibitors.
Fujii K, Suzuki N, Jimura N, Idogawa M, Kondo T, Iwatsuki K, Kanekura T.
J. Dermatol. Sci. 90(1): 82-89 (2018.4)
- 2) All-Trans Retinoic Acid Induces CD4+CD25+FOXP3+ Regulatory T Cells by Increasing FOXP3 Demethylation in Systemic Sclerosis CD4+ T Cells.
Sun X, Xiao Y, Zeng Z, Shi Y, Tang B, Long H, Kanekura T, Wang J, Wu H, Zhao M, Lu Q, Xiao R.
J. Immunol. Res. 2018: 8658156 (2018.4)
- 3) Ethosuximide-induced Stevens-Johnson syndrome: Beneficial effect of early intervention with high-dose corticosteroid therapy.
Tachibana K, Hamada T, Tsuchiya H, Shibata T, Fujii K, Kobayashi K, Iwatsuki K.
J. Dermatol. 45(5): 592-595 (2018.5)
- 4) Two cases of severe fever with thrombocytopenia syndrome virus infection.
Uchida Y, Kanekura T.
J. Dermatol. 45(5): e106-e107 (2018.5)
- 5) Granulocyte and monocyte adsorption apheresis for palmoplantar pustulosis with extra-palmoplantar lesions and pustulotic arthro-osteitis.
Arimura A, Fujii K, Ibusuki A, Hatanaka M, Sakanoue M, Higashi Y, Kanekura T.
J. Dermatol. 45(6): e167-e168 (2018.6)
- 6) Hypohidrotic ectodermal dysplasia with strabismus.
Okubo A, Fujii K, Arimura A, Katsue H, Higashi Y, Shimomura Y, Kanekura T.
J. Dermatol. 45(7): e191-e192 (2018.7)
- 7) Alopecia areata complicated with Good's syndrome.
Jimura N, Fujii K, Higashi Y, Kanekura T.
Australas. J. Dermatol. 59(3): e214-e215 (2018.8)
- 8) Case of childhood granulomatous periorificial dermatitis.
Hatanaka M, Kanekura T.
J. Dermatol. 45(9): e256-e257 (2018.9)
- 9) A case of Bullous Pemphigoid Associated with Lichen Sclerosus et Atrophicus.
Yoshifuku A, Okubo A, Jimura N, Fujii K, Higashi Y, Kanekura T.
Indian. J. Dermatol. 63(5): 427-428 (2018.9-10)
- 10) Japanese guidelines for the management and treatment of generalized pustular psoriasis: The new pathogenesis and treatment of GPP.
Fujita H, Terui T, Hayama K, Akiyama M, Ikeda S, Mabuchi T, Ozawa A, Kanekura T, Kurosawa M, Komine M, Nakajima K, Sano S, Nemoto O, Muto M, Imai Y, Yamanishi K, Aoyama Y, Iwatsuki K; Japanese Dermatological Association Guidelines Development Committee for the Guidelines for the Management and Treatment of Generalized Pustular Psoriasis.
J. Dermatol. 45(11): 1235-1270 (2018.11)

- 11) Comparison of oxidative stress on DNA, protein and lipids in patients with actinic keratosis, Bowen's disease and squamous cell carcinoma.
Yoshifuku A, Fujii K, Kanekura T.
J. Dermatol. 45(11): 1319-1323 (2018.11)
- 12) Successful treatment of plaque-type psoriasis by granulocyte and monocyte adsorption apheresis in a patient with psoriatic arthritis.
Matsuoka A, Higashi Y, Kanekura T.
J. Dermatol. 45(11): e324-e325 (2018.11)
- 13) Cross-sectional survey on disease severity in Japanese patients with harlequin ichthyosis/ichthyosis: Syndromic forms and quality-of-life analysis in a subgroup.
Murase C, Takeichi T, Shibata A, Nakatochi M, Kinoshita F, Kubo A, Nakajima K, Ishii N, Amano H, Masuda K, Kawakami H, Kanekura T, Washio K, Asano M, Teramura K, Akasaka E, Tohyama M, Hatano Y, Ochiai T, Moriwaki S, Sato T, Ishida-Yamamoto A, Seishima M, Kurosawa M, Ikeda S, Akiyama M.
J. Dermatol. Sci. 92(2): 127-133 (2018.11)
- 14) Idiopathic thrombocytopenic purpura in a patient with IgG4-related disease.
Jimura N, Fujii K, Higashi Y, Kanekura T.
Clin. Exp. Dermatol. 43(8): 941-943 (2018.12)
- 15) Vulvitis granulomatosa in a patient with Crohn's disease.
Katsue H, Fujii K, Nishibaba R, Higashi Y, Kanekura T.
Derm. Sinica. 36(4): 244-245 (2018.12)
- 16) Nation-wide survey of advanced non-melanoma skin cancers treated at dermatology departments in Japan.
Fujisawa Y, Funakoshi T, Nakamura Y, Ishii M, Asai J, Shimauchi T, Fujii K, Fujimoto M, Katoh N, Ihn H.
J. Dermatol. Sci. 92(3): 230-236 (2018.12)
- 17) Silk fibroin produced by transgenic silkworms overexpressing the Arg-Gly-Asp motif accelerates cutaneous wound healing in mice.
Baba A, Matsushita S, Kitayama K, Asakura T, Sezutsu H, Tanimoto A, Kanekura T.
J. Biomed. Mater. Res. B. Appl. Biomater. 107(1): 97-103 (2019.1)
- 18) Identification of a novel splice site mutation in the LIPH gene in a Japanese family with autosomal recessive woolly hair.
Asano N, Okita T, Yasuno S, Yamaguchi M, Kashiwagi K, Kanekura T, Shimomura Y.
J. Dermatol. 46(1): e19-e20 (2019.1)
- 19) Sézary syndrome in an anti-human T-cell lymphotropic virus type 1 seropositive carrier.
Baba N, Fujii K, Nomoto Y, Jimura N, Higashi Y, Takami S, Masamoto I, Yonekura K, Mera K, Kanekura T.
J. Dermatol. 46(1): e40-e41 (2019.1)

【和文原著】

- 1) 【小児先天性皮膚疾患】臨床例 neurocutaneous melanosis
地村 望、藤井一恭、青木恵美、松下茂人、金蔵 拓郎
皮膚病診療 41 (1) : 33-36 (2019.1)

- 2) 【小児先天性皮膚疾患】臨床例 脂腺母斑上に生じた毛芽腫
指宿敦子、坂ノ上正直、東 裕子、金蔵拓郎
皮膚病診療 41 (1) : 37-40 (2019.1)

IV. その他

- 1) 円形脱毛症の病態形成におけるガンマデルタ ($\gamma \delta$) T 細胞の役割と、新規治療ターゲットとしての可能性
内田洋平、金蔵拓郎
鹿児島県医師会報 804 : 51-52 (2018.6)
- 2) 〈座談会〉続けやすさを考慮した乾癬治療 生物学的製剤による進歩と課題
東 裕子 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
NOVARTIS (2018.7)
- 3) 巻頭言 皮膚疾患とアフェレシス up-to-date
金蔵拓郎
日本アフェレシス学会雑誌 37 (3) : 168-170 (2018.10)
- 4) 「皮膚科医、ドクガにやられる」の巻
金蔵拓郎
鹿児島県皮膚科医部会報 37号 : 19-20 (2018.10)
- 5) 編集後記
金蔵拓郎
日本アフェレシス学会雑誌 38 (1) : 89 (2019.2)

V. 学会発表

【国際・特別（招請）講演】

ナ シ

【国際・一般講演】

ナ シ

【国際・教育講演】

ナ シ

【国際・シンポジウム】

ナ シ

【国際・ワークショップ】

ナ シ

【国際・セミナー】

ナ シ

【国際・一般演題】

- 1) Induction of keratin 1 and keratin 10 expression by topical glucose in a mouse model of atopic dermatitis and in keratinocyte culture: A possible role of glucose in skin barrier repair.
Yamada K, Matsushita K, Wang J, Kanekura T.
International Investigative Dermatology 2018
May 16-19, 2018 Florida, USA
- 2) Orchestrated cytotoxic and skin migratory ability lacking self-tolerance: circulating γ δ T-cells may promote alopecia areata.
Uchida Y, Kanekura T.
International Investigative Dermatology 2018
May 16-19, 2018 Florida, USA
- 3) Spontaneous regression of primary cutaneous diffuse large B-cell lymphoma, leg type, with multiple lesions.
Fujii K, Jimura N, Okubo A, Sakanoue M, Uchida Y, Higashi Y, Kawabata H, Kanekura T.
EORTC CLTF Meeting St.Gallen 2018
September 27-29, 2018 St.Gallen, Switzerland

【国際・その他】

ナ シ

【国内・特別（招請）講演】

- 1) 乾癬 バイオ治療
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
大隅乾癬勉強会
2018年5月23日 鹿屋
- 2) 日常診療でよくみる“かゆみ”のある皮膚疾患
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第406回医師会病院薬物療法研修会
2018年6月19日 鹿児島
- 3) 膿疱性乾癬の新たな治療
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
皮膚疾患 Clinical Conference
2018年7月19日 大阪
- 4) 私の皮膚科医生活と乾癬治療～負け犬の遠吠え編～
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
Passion For Women Dermatologist Specialists Seminar VOL.3（Powers Seminer VOL.3）
2019年3月6日 広島
- 5) 全身性炎症疾患の観点からみた乾癬治療・抗IL-17製剤の役割
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
九州乾癬 web 講演会
2019年3月13日 鹿児島

【国内・一般講演】

ナ シ

【国内・教育講演】

- 1) 当科における乾癬治療-コセンティクス使用患者のまとめ-
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
社外講師勉強会（ノバルティスファーマ株式会社）
2018年4月4日 鹿児島
- 2) 乾癬について
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
社内研修会（大鵬薬品工業株式会社）
2018年4月13日 鹿児島
- 3) 乾癬性関節炎の新しい治療：顆粒球吸着除去療法
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第117回日本皮膚科学会総会
2018年5月31～6月3日 広島

- 4) 一（イチ）皮膚科医の話～入局から専門医取得まで～
指宿敦子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第 117 回日本皮膚科学会総会
2018 年 5 月 31～6 月 3 日 広島
- 5) 全身性炎症疾患の観点からみた乾癬治療・抗 IL-17 製剤の役割
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
社内研修会（協和発酵キリン株式会社）
2018 年 9 月 28 日 鹿児島
- 6) ATL の診療に必要な基礎知識 tips & pitfalls
河井一浩（木戸病院皮膚科）
新潟大学皮膚科カンファレンス
2018 年 10 月 10 日 新潟
- 7) 鹿児島大学皮膚科の乾癬診療
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
社内研修会（大鵬薬品工業株式会社）
2018 年 10 月 18 日 鹿児島
- 8) irAE 皮膚障害・重症薬疹について
多田浩一（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第 7 回鹿児島アレルギー講習会
2019 年 2 月 14 日 鹿児島

【国内・シンポジウム】

- 1) 鹿児島大学皮膚科のアフェレシスの現状（Our experience of apheresis in Kagoshima university）
馬場淳徳、東 裕子、金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第 39 回日本アフェレシス学会学術大会
2018 年 10 月 25～27 日 岡山

【国内・ワークショップ】

ナ シ

【国内・セミナー】

- 1) 〈スイーツセミナー〉全身性炎症疾患の観点からみた乾癬治療・抗 IL-17 製剤の役割
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第 69 回日本皮膚科学会中部支部学術大会
2018 年 10 月 27～28 日 大阪
- 2) 〈ウェブセミナー〉炎症性皮膚疾患と皮膚 T 細胞性リンパ腫
藤井一恭（鹿児島大学大学院皮膚科学）
ミノファーゲン製薬 WEB ライブセミナー（病理の寺子屋シリーズ第 4 回）
2019 年 2 月 20 日 東京

【国内・一般演題】

- 1) 2017年鹿児島大学病院皮膚科外来、紹介患者、パッチテスト統計
畠中美帆、野元裕輔、大久保葵、松岡温子、川平尚生、有村亜希子、地村 望、
坂ノ上正直、山筋好子、指宿敦子、西馬場理恵、多田浩一、内田洋平、藤井一恭、
東 裕子、金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第180回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2018年4月15日 鹿児島
- 2) 2017年鹿児島大学病院皮膚科入院患者統計
多田浩一、野元祐輔、大久保葵、松岡温子、川平尚生、有村亜希子、地村 望、
勝江浩未、坂ノ上正直、馬場直子、畠中美帆、山筋好子、指宿敦子、内田洋平、
西馬場理恵、吉福明日香、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第180回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2018年4月15日 鹿児島
- 3) 2017年鹿児島大学病院皮膚科死亡統計
坂ノ上正直、多田浩一、大久保葵、野元祐輔、松岡温子、川平尚生、有村亜希子、
地村 望、勝江浩未、畠中美帆、馬場直子、山筋好子、指宿敦子、西馬場理恵、
吉福明日香、内田洋平、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第180回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2018年4月15日 鹿児島
- 4) 2017年鹿児島大学病院皮膚科手術統計
川平尚生、多田浩一、畠中美帆、大久保葵、野元祐輔、松岡温子、有村亜希子、地村 望、
勝江浩未、坂ノ上正直、馬場直子、山筋好子、指宿敦子、西馬場理恵、吉福明日香、
内田洋平、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第180回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2018年4月15日 鹿児島
- 5) 美容目的の異物注入による異物肉芽種の2例
沼田恵理、内田洋平、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第180回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2018年4月15日 鹿児島
- 6) 神経系腫瘍の2例
大久保葵¹、畠中美帆¹、野元裕輔¹、有村亜希子¹、多田浩一¹、内田洋平¹、藤井一恭¹、
東 裕子¹、馬場直子²、金蔵拓郎¹（¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²鹿児島市立）
第180回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2018年4月15日 鹿児島
- 7) *Proteus mirabilis*による急速進行性ガス壊疽の1例
野元裕輔¹、西馬場理恵¹、松岡温子¹、川平尚生¹、多田浩一¹、藤井一恭¹、
東 裕子¹、今村勝行²、廣津匡隆²、泉 俊彦²、橋口貴樹³、金蔵拓郎¹
（¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同整形外科、³鹿児島市）
第180回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2018年4月15日 鹿児島

- 8) 春陽会中央病院への出向を終えて
久留光博（春陽会中央病院皮膚科）
第 180 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2018 年 4 月 15 日 鹿児島
- 9) 県立大島病院への出向を終えて
馬場淳徳（県立大島病院皮膚科）
第 180 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2018 年 4 月 15 日 鹿児島
- 10) 鹿児島市立病院への出向を終えて
馬場直子（鹿児島市立病院皮膚科）
第 180 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2018 年 4 月 15 日 鹿児島
- 11) 平成 30 年度鹿児島大学大学院医歯学総合研究科感覚器病学講座皮膚科学分野教室の体制
多田浩一（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第 180 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2018 年 4 月 15 日 鹿児島
- 12) 二分脊椎症患者に生じた滑液包炎合併坐骨部褥瘡に対するケアの検討
西帯野智代¹、竹原沙織¹、柳 賀文²、指宿敦子³、多田浩一³、金蔵拓郎
(¹鹿児島大学病院看護部、²同リハビリテーション部、³鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 15 回日本褥瘡学会九州・沖縄地方会学術集会
2018 年 4 月 21 日 熊本
- 13) HDAC 阻害剤の併用療法のターゲットとしての HSP72 の可能性
藤井一恭¹、地村 望¹、近藤 格²、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、
²国立がん研究センター研究所希少がん研究分野)
南九州腫瘍研究会第 29 回学術集会
2018 年 4 月 26 日 鹿児島
- 14) 管腔構造を伴った乳房外 Paget 癌の 1 例 (A case of extramammary Paget's carcinoma histologically manifesting glandular structures)
野元裕輔¹、有村亜希子¹、内田洋平¹、勝江浩未¹、馬場直子¹、多田浩一¹、藤井一恭¹、
東 裕子¹、川畑 久²、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²薩摩川内市)
第 34 回日本皮膚病理組織学会
2018 年 4 月 21~22 日 東京
- 15) 偽性腸閉塞を合併した全身性強皮症に対し在宅中心静脈栄養を導入した 1 例
大久保 葵、指宿敦子、有村亜希子、地村 望、勝江浩未、馬場淳徳、馬場直子、
藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第 117 回日本皮膚科学会総会
2018 年 5 月 31~6 月 3 日 広島
- 16) Blue toe syndrome の足趾潰瘍に対して LDL アフェレシスを行った 1 例
坂ノ上正直、松岡温子、藤井一恭、金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第 117 回日本皮膚科学会総会
2018 年 5 月 31~6 月 3 日 広島

- 17) 皮膚筋炎に合併した皮膚 *Mycobacterium chelonae* 感染症の1例
指宿敦子¹、吉福明日香¹、多田浩一¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、宮本友司²、石井則久²、
金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²国立感染症研究所ハンセン病研究センター)
第117回日本皮膚科学会総会
2018年5月31～6月3日 広島
- 18) Monoclonal gammopathy of undetermined significance (MGUS)を合併した壊疽性膿皮症の1例
古賀甲菜¹、畠中美帆¹、松岡温子¹、坂ノ上正直¹、多田浩一¹、内田洋平¹、藤井一恭¹、
東 裕子¹、寺崎健治朗²、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²鹿屋市)
第117回日本皮膚科学会総会「学生・研修医発表セッション」
2018年6月2日 広島
- 19) 2年間経過観察中の Sjögren 症候群合併抗 TIF-1 γ 抗体陽性 CADM
荻根沢真帆子¹、河井一浩¹、佐藤信輔¹、勝見伸也² (¹木戸病院皮膚科、²新潟市)
日本皮膚科学会新潟地方会第390回例会
2018年6月30日 新潟
- 20) EBV 陽性粘膜皮膚潰瘍の1例
沼田恵理、東 裕子、藤井一恭、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第14回日本皮膚科学会南九州地区合同地方会
2018年6月30～7月1日 鹿児島
- 21) 遺伝子検索で確定診断が得られた隆起性皮膚線維肉腫
大久保 葵、畠中美帆、坂ノ上正直、多田浩一、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎
(鹿児島大学大学院皮膚科学)
第14回日本皮膚科学会南九州地区合同地方会
2018年6月30～7月1日 鹿児島
- 22) Q スイッチルビーレーザーによる治療が奏効を示した Pigmented fungiform papillae of the
tongue の1例
指宿敦子、有村亜希子、畠中美帆、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎
(鹿児島大学大学院皮膚科学)
第14回日本皮膚科学会南九州地区合同地方会
2018年6月30～7月1日 鹿児島
- 23) 生検で多くの病変が消退した多発性皮膚原発びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫
畠中美帆¹、藤井一恭¹、大久保 葵¹、有村亜希子¹、坂ノ上正直¹、内田洋平¹、
東 裕子¹、川畑 久²、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²薩摩川内市)
第34回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
2018年7月6～7日 浜松
- 24) 小児の脂腺母斑上に生じた毛芽腫の1例
指宿敦子、大久保 葵、坂ノ上正直、多田浩一、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎
(鹿児島大学大学院皮膚科学)
第34回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
2018年7月6～7日 浜松

- 25) 〈研究演題〉皮膚リンパ腫 全国症例数調査の結果 (2017年版)
藤井一恭^{1,4}、島内隆寿^{2,4}、浅井 純^{3,4} (鹿児島大学大学院皮膚科学、
²浜松医科大学皮膚科、³京都府立医科大学皮膚科、⁴日本皮膚悪性腫瘍学会)
第34回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
2018年7月6~7日 浜松
- 26) 脂腺母斑上に生じた毛芽腫の1例
坂ノ上正直、指宿敦子、大久保 葵、多田浩一、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎
(鹿児島大学大学院皮膚科学)
第42回日本小児皮膚科学会学術大会
2018年7月14~15日 東京
- 27) 敗血症により皮膚病変が誘発された急性型成人T細胞白血病/リンパ腫
藤井一恭¹、内田洋平¹、有村亜希子¹、東 裕子¹、有馬直祐²、吉満 誠²、石塚賢治²、
金蔵拓郎¹ (鹿児島大学大学院皮膚科学、同血液・膠原病内科学)
第5回日本 HTLV-1 学会学術集会
2018年8月31~9月2日 東京
- 28) 慢性リンパ性白血病患者に発症した EBV 陽性粘膜皮膚潰瘍の1例
沼田恵理、畠中美帆、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第90回日本皮膚科学会山梨地方会 島田眞路日本皮膚科学会理事長退任記念地方会
2018年9月1日 甲府
- 29) 顆粒球吸着療法が有効であった plaque type の皮疹を伴う乾癬性関節炎の1例
坂ノ上正直、松岡温子、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第33回日本乾癬学会学術大会
2018年9月7~8日 松山
- 30) Capillary leak syndrome の併発を疑った膿疱性乾癬の2例
川平尚生、野元裕輔、大久保 葵、松岡温子、地村 望、西馬場理恵、多田浩一、
藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第33回日本乾癬学会学術大会
2018年9月7~8日 松山
- 31) Omenn 症候群の1例
藤井一恭¹、指宿敦子¹、西川拓朗²、河野嘉文²、金蔵拓郎¹
(¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同小児科学)
第275回日本皮膚科学会岡山地方会 森実 真 教授就任記念地方会
2018年9月9日 岡山
- 32) 生物学的製剤が効果不十分な乾癬性関節炎/関節症性乾癬に対する顆粒球単球吸着除去療法 (GMA)
扇谷咲子¹、土橋人士¹、草生真規雄²、山路 健²、金蔵拓郎³、池田志孝¹
(¹順天堂大学皮膚科学、²同膠原病・リウマチ内科学、³鹿児島大学大学院皮膚科学)
日本脊椎関節炎学会第28回学術集会
2018年9月15日 東京

- 33) LIPH 遺伝子に新規のスプライス部位変異を同定した先天性縮毛症の姉妹例
下村 裕¹、浅野伸幸¹、金蔵拓郎² (¹山口大学大学院皮膚科学、
²鹿児島大学大学院皮膚科学)
日本皮膚科学会長崎地方会第 336 回例会[室田浩之教授就任記念]
2018 年 9 月 23~24 日 長崎
- 34) 鼻瘤様外観を呈した pseudolymphoma
荻根沢真帆子、河井一浩 (木戸病院皮膚科)
日本皮膚科学会新潟地方会第 391 回例会
2018 年 9 月 29 日 新潟
- 35) LDL アフェレシスが有効であった Blue toe syndrome の 1 例 (A case of blue toe syndrome successfully treated with LDL apheresis)
沼田恵理、坂ノ上正直、松岡温子、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎
(鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 39 回日本アフェレシス学会学術大会
2018 年 10 月 25~27 日 岡山
- 36) 小児の汎発型環状肉芽腫の 1 例
馬場淳徳、畠中美帆、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 70 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2018 年 11 月 10~11 日 島根
- 37) Intravascular Large B Cell Lymphoma 疑診例に対して実施したランダム皮膚生検の検討
畠中美帆、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 70 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2018 年 11 月 10~11 日 島根
- 38) 芽球形質細胞様樹状細胞腫瘍 (BPDCN) の 5 例
川平尚生、大久保 葵、野元裕輔、松岡温子、地村 望、勝江浩未、馬場淳徳、
馬場直子、西馬場理恵、多田浩一、内田洋平、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎
(鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 70 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2018 年 11 月 10~11 日 島根
- 39) 全身性エリテマトーデスに合併したサイトメガロウイルス腸炎の 1 例
大久保 葵¹、東 裕子¹、有村亜希子¹、勝江浩未¹、藤井一恭¹、田中啓仁²、
上村修司²、井戸章雄²、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同消化器内科)
第 48 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会
2018 年 11 月 16~18 日 奈良
- 40) 間質性肺炎が先行し、肺胞出血による呼吸不全と急性腎障害を合併した重症型顕微鏡的多発血管炎の 1 例
野元裕輔¹、馬場直子¹、畠中美帆¹、多田浩一¹、内田洋平¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、
谷川健吾²、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同呼吸器内科)
第 48 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会
2018 年 11 月 16~18 日 奈良

- 41) 好中球性皮膚疾患の病勢マーカーとしての microRNA の検索
東 裕子¹、山口宗一²、坂ノ上正直¹、福重智子¹、金蔵拓郎¹
(¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同血管代謝病態解析学)
第 48 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会
2018 年 11 月 16~18 日 奈良
- 42) 円形脱毛症における末梢血 γ δ T 細胞の解析
内田洋平、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 48 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会
2018 年 11 月 16~18 日 奈良
- 43) Differentiation of murine resident epidermal T cells into IL-13-producing cells in the perinatal epidermis
Ibusuki A¹, Kawai K², Kanekura T¹ (¹Department of Dermatology, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, ²Department of Dermatology, Kido Hospital)
第 32 回表皮細胞研究会
2018 年 11 月 23 日 横浜
- 44) 鹿児島大学におけるグセルクマブの使用経験
指宿敦子 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
トレムフィア®新発売記念講演会 in 鹿児島
2018 年 11 月 30 日 鹿児島
- 45) 多発性毛孔一致性丘疹の生検により診断された follicular lymphoma
荻根沢真帆子¹、河井一浩¹、岩井由樹¹、瀧澤 淳² (¹木戸病院皮膚科、²新潟大学血液・内分泌代謝内科学)
日本皮膚科学会新潟地方会第 392 回例会
2018 年 12 月 8 日 新潟
- 46) 県立大島病院での皮膚科診療の状況及び奄美群島における皮膚科診療体制の現況
久留光博 (県立大島病院皮膚科)
第 182 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2018 年 12 月 9 日 鹿児島
- 47) Erythrokeratoderma 様の皮疹を伴った Pityriasis lichenoides chronica の 1 例
武田浩一郎¹、玉井真理子¹、川上延代¹、佐藤浩子¹、米倉健太郎¹、神崎 保¹、
金蔵拓郎² (¹今村総合病院皮膚科、²鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 182 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2018 年 12 月 9 日 鹿児島
- 48) 自己抗体からみた皮膚筋炎の 3 例 (自己抗体と臨床症状の関連)
稲津恵理¹、多田浩一¹、大久保葵¹、松岡温子¹、川平尚生¹、馬場淳徳¹、藤井一恭¹、
東 裕子¹、福丸聖太²、三好逸男³、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、
²垂水市、³今給黎総合病院皮膚科)
第 182 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2018 年 12 月 9 日 鹿児島

- 49) 後天性血友病を合併した自己免疫性水疱症の2例
川平尚生¹、大久保葵¹、松岡温子¹、地村 望¹、勝江浩未¹、馬場直子¹、指宿敦子¹、
多田浩一¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、青山裕美²、金蔵拓郎¹
(¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²川崎医科大学皮膚科)
第182回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2018年12月9日 鹿児島
- 50) RS ウイルス感染症を合併した乾癬性関節炎の1例
馬場淳徳、東裕子、稲津恵理、山筋好子、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第182回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2018年12月9日 鹿児島
- 51) 〈研究演題〉高濃度グルコース外用は上皮バリア機能を修復して、皮膚慢性炎症を減弱する
山田きよ子^{1,3}、王 静舒³、指宿敦子¹、松下健二^{2,3}、金蔵拓郎¹
(¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同長寿口腔科学、
³国立長寿医療研究センター口腔疾患研究部)
第182回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2018年12月9日 鹿児島
- 52) 〈研究演題〉マウス表皮内 γ δ T細胞は出生前後の表皮内でIL-13産生細胞に分化する
指宿敦子¹、河井一浩^{1,2}、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²木戸病院皮膚科)
第182回日本皮膚科学会鹿児島地方会
2018年12月9日 鹿児島
- 53) Analysis of the mechanism of the development of atopic disorders in mice with a hypomorphic CARD11 mutation.
Nomoto Y^{1,2}, Yasukawa S³, Hara H¹ (¹Department of Immunology, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, ²Department of Dermatology, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, ³Department of Dermatology, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University)
第7回ITAM研究会
2019年2月5～6日 沖縄
- 54) Carma1L815P-KI マウスにおける皮膚炎発症メカニズムの解明
野元裕輔^{1,2}、安川晋輔³、原 博満¹ (¹鹿児島大学大学院免疫学、
²鹿児島大学大学院皮膚科学、³九州大学皮膚科)
第10回日本研究皮膚科学会きさらぎ塾
2019年2月14～17日 沖縄

【国内・その他】

- 1) 〈座談会〉続けやすさを考慮した乾癬治療 生物学的製剤による進歩と課題
東 裕子 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
座談会「続けやすさを考慮した乾癬治療 生物学的製剤による進歩と課題」
2018年7月15日 福岡

- 2) 〈座談会〉患者目線の尋常性乾癬外用療法～ドボベツトゲルの位置づけとは～
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
座談会「患者目線の尋常性乾癬外用療法～ドボベツトゲルの位置づけとは～」
2018年9月12日 福岡
- 3) 〈日本皮膚科学会キャリア支援委員会企画：メンター&メンティーの相談会（M&M）〉
モチベーションを高める！
青山裕美¹、東 裕子²、中原真希子³、竹尾直子⁴、宮下 梓⁵、杉山聖子¹
（¹川崎医科大学皮膚科、²鹿児島大学大学院皮膚科学、³九州大学皮膚科、
⁴大分大学皮膚科、⁵熊本大学皮膚科）
第70回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2018年11月10～11日 島根

VI. 社会への貢献（マスメディア等）

【テレビ】

ナ シ

【ラジオ】

ナ シ

【新聞】

- 1) 「絹の成分 傷再生に効果」
金蔵拓郎
南日本新聞（2018年5月16日掲載）
- 2) 「再生医療分野での絹の可能性」
金蔵拓郎
南海日日新聞（2018年6月16日掲載）
- 3) 「尋常性座瘡 青春のシンボル跡残さずに」
大久保 葵
南日本新聞（2018年11月7日掲載）
- 4) 「白癬 侮らず時間かけて治療を」
稲津恵理
南日本新聞（2018年11月21日掲載）
- 5) 「乳児のスキンケア アレルギー原因の侵入防ぐ」
多田浩一
南日本新聞（2018年12月5日掲載）
- 6) 「食物アレルギーと皮膚 意外な原因で重篤な症状」
指宿敦子
南日本新聞（2018年12月19日掲載）

【その他のメディア】

- 1) 「もしかしてつめ水虫？」
金蔵拓郎
科研製薬株式会社ポスター（2018年4月掲載）

VII. 学会・講演会などの開催

【学会】

- 1) 第180回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
鹿児島大学医学部鶴陵会館 2018年4月15日
- 2) 第14回日本皮膚科学会南九州地区合同地方会（兼第181回日本皮膚科学会鹿児島地方会）
TKP ガーデンシティ鹿児島中央 2018年6月30～7月1日
- 3) 第182回日本皮膚科学会鹿児島地方会
TKP ガーデンシティ鹿児島中央 2018年12月9日

【学術講演会】

- 1) 波多野 豊（大分大学医学部皮膚科学講座教授）
「アレルギー炎症と皮膚バリア機能異常のクロストーク
～アトピー性皮膚炎の最適なマネジメントを目指して～」
（共催）日本皮膚科学会鹿児島地方会
2018年4月15日
- 2) Nikolas K. Haass（The University of Queensland, Australia Prof.）
「Understanding melanoma biology to develop novel melanoma therapies」
（共催）日本皮膚科学会鹿児島地方会
2018年6月30日
- 3) 伊藤 圭（JR 札幌病院皮膚科科長）
「最高のテラーメイド乾癬治療を目指す PASI マイナス2の世界」
（共催）日本皮膚科学会鹿児島地方会・鳥居薬品株式会社・日本イーライリリー株式会社
2018年7月1日
- 4) 谷崎 英昭（大阪医科大学感覚器機能形態医学講座皮膚科学講師）
「これからの蕁麻疹治療に求められるもの」
（共催）日本皮膚科学会鹿児島地方会・ノバルティス ファーマ株式会社
2018年12月9日

VIII. 学会活動

<金蔵拓郎>

- ・ 日本研究皮膚科学会（理事）
- ・ 鹿児島膠原病研究会（世話人）
- ・ 日本皮膚科学会（雑誌委員・西部支部運営委員会・代議員・西部支部学術委員）
- ・ 米国研究皮膚科学会
- ・ 日本生化学会
- ・ 日本免疫学会
- ・ 日本癌学会
- ・ 日本アレルギー学会
- ・ 日本リウマチ学会
- ・ 日本形成外科学会九州地方会
- ・ 日本リンパ網内系学会
- ・ 日本熱傷学会九州地方会
- ・ 鹿児島異種移植研究会（世話人）
- ・ 日本乾癬学会（理事）
- ・ 日本アフェレシス学会（評議員）
- ・ 鹿児島アレルギー懇話会（世話人）
- ・ 皮膚脈管・膠原病研究会（世話人）
- ・ 南九州腫瘍研究会（世話人）
- ・ 日本皮膚悪性腫瘍学会（理事）
- ・ 鹿児島県性感染症研究会（世話人）
- ・ 鹿児島地区皮膚疾患病態治療研究会（代表世話人）
- ・ 鹿児島皮膚アレルギー研究会（代表世話人）
- ・ 鹿児島皮膚疾患の治療を語る会（代表世話人）
- ・ 鹿児島救急医学会（評議員）
- ・ The Open Dermatology Journal, Editorial Board Member
- ・ 第10回日中合同皮膚科学術会議組織委員
- ・ 表皮細胞研究会（監事）
- ・ 日本褥瘡学会九州地方会（世話人）
- ・ 日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会（評議員）
- ・ Journal of Dermatological Science, Editorial Board
- ・ 日本皮膚科学会膿疱性乾癬診療ガイドライン改定委員会委員
- ・ 日本アフェレシス学会雑誌編集委員
- ・ 日本研究皮膚科学会推薦委員
- ・ 第18回国際ヒトレトロウイルス HTLV 会議組織委員
- ・ IID2018 Abstract Review

<東 裕子>

- ・ キャリア支援委員会委員
- ・ 日本皮膚科学会西部支部（代議員）
- ・ 日本研究皮膚科学会（評議員・ダイバーシティ委員会委員）

<藤井一恭>

- ・日本研究皮膚科学会（評議員）
- ・九州真菌懇話会（施設幹事）
- ・日本電気泳動学会（評議員）
- ・皮膚悪性腫瘍学会（評議員・皮膚がん予後統計委員会委員）
- ・日本癌治療学会・協力委員

<坂ノ上正直>

- ・日本アフェレシス学会（評議員）

<河井一浩>

- ・日本皮膚科学会
- ・日本研究皮膚科学会（評議員）
- ・日本皮膚悪性腫瘍学会（評議員）
- ・日本免疫学会
- ・The Society for Investigative Dermatology
- ・International Society for Cutaneous Lymphomas
- ・日本臨床皮膚科医会
- ・The American Association of Immunologists
- ・日本皮膚免疫アレルギー学会（代議員）
- ・J.Dermatol. (Section Editor)

IX. Journal Review

<金蔵拓郎>

- ・日本アフェレンス学会雑誌 (9 編) / Acta.Dermatovenereological. / J.Dermatol.Sci. / Ther.Apher.Dial. (2 編)

<藤井一恭>

- ・Eur.J.Dermatol. (3 編) / J.Dermatol. (2 編) / J.Dermatol.Sci. (2 編) / J.Electrophoresis. (2 編)

<内田洋平>

- ・Br.J.Dermatol. / J.Dermatol. (3 編) / J.Dermatol.Sci. (2 編)

<馬場淳徳>

- ・Clin.Exp.Dermatol. / J.Dermatol.

<河井一浩>

- ・Eur.J.Dermatol. / J.Dermatol. (44 編)

X. 学内活動

<金蔵拓郎>

- ・医学部共同利用研究棟運営委員
- ・教員の評価に関する制度検討委員会委員
- ・研究フォーラム・インフォメーションオフィスメンバー
- ・セカンドオピニオン外来担当医
- ・卒後臨床研修部研修管理委員会委員
- ・感覚器センター長
- ・医学部副学部長
- ・学位審査委員 (1 件)

XI. 学生講義

<金蔵拓郎>

- ・【医学部】[炎症性皮膚疾患（2018.6.7：M4）]
- ・【医学部】[炎症性皮膚疾患（2018.9.20：M3）]
- ・【宮崎大学講義】[皮膚症状からみる膠原病（2018.11.30：M3）]

<東 裕子>

- ・【共通教育】[がんはなぜおこるのか（2018.5.17）]
- ・【医学部】[水疱症、角化症（2018.6.5：M4）]
- ・【医学部】[国試対策（2018.8.2：M6）]
- ・【医学部】[水疱症、角化症（2018.9.12：M3）]
- ・【医学部】[感染症（2019.1.22：M3）]

<藤井一恭>

- ・【医学部】[皮膚悪性腫瘍（2018.5.30：M4）]
- ・【医学部】[皮膚の悪性リンパ腫（2018.6.13：M4）]
- ・【医学部】[皮膚悪性腫瘍（2018.9.21：M3）]

<内田洋平>

- ・【医学部】[発疹学・検査（2018.5.29：M4）]
- ・【医学部】[発疹学・検査（2018.9.19：M3）]
- ・【共通教育】[健康を守り、作る（2018.11.14）]

<多田浩一>

- ・【歯学部】[水疱症（表皮水疱症）、ベーチェット病（2018.4.23：M5）]
- ・【歯学部】[アレルギー疾患、皮膚テスト（2018.5.7：M5）]
- ・【医学部】[母斑、母斑症、血管腫、皮膚良性腫瘍（2018.5.30：M4）]
- ・【医学部】[母斑、母斑症、血管腫、皮膚良性腫瘍（2018.9.18：M3）]
- ・【看護】[総論（2018.11.13：M2）]
- ・【医学部】[感染症チュートリアル（2019.1.28：M3）]
- ・OSCE（2019.2.5）

<指宿敦子>

- ・【歯学部】[皮膚の構造・機能 先天性疾患（2018.4.9：M5）]
- ・【歯学部】[試験監督（2018.5.21：M5）]
- ・OSCE（2018.7.19）
- ・【医学部】[褥瘡、熱傷（2018.9.14：M3）]
- ・【医学部】[縫合実習1（2019.1.17：M4）]
- ・【医学部】[感染症チュートリアル（2019.1.21：M3）]

<島中美帆>

- ・【歯学部】[膠原病、感染症（2018.4.16：M5）]
- ・【医学部】[皮膚の構造・機能（2018.9.11：M3）]
- ・【医学部】[発生・発達チュートリアル（2018.9.11：M4）]
- ・【看護】[各論(Ⅱ)（2018.12.4：M2）]
- ・【医学部】[発生・発達チュートリアル（2018.12.18：M4）]
- ・OSCE（2019.2.5）

<馬場直子>

- ・【歯学部】[腫瘍性疾患（2018.5.15：M5）]
- ・OSCE（2018.7.19）
- ・【看護】[各論(Ⅰ)（2018.11.27：M2）]
- ・【医学部】[縫合実習2（2019.1.29：M4）]

<山筋好子>

- ・【医学部】[医療情報・検査チュートリアル（2018.10.1：M4）]

<馬場淳徳>

- ・【医学部】[発生・発達チュートリアル（2018.9.4：M4）]
- ・【医学部】[発生・発達チュートリアル（2018.12.11：M3）]
- ・【鹿児島市立病院病棟講義】[内服・点滴負荷試験（チャレンジテスト）について（2019.2.13）]

<川平尚生>

- ・【野田女子高等学校】[成人看護学-皮膚（前半）（2018.6.21：M2）]
- ・【野田女子高等学校】[成人看護学-皮膚（後半）（2018.7.5：M2）]

<稲津（沼田）恵理>

- ・【鹿児島医療技術専門学校】[皮膚科全般 1/3（2018.6.4：M2）]
- ・【鹿児島医療技術専門学校】[皮膚科全般 2/3（2018.6.11：M2）]
- ・【鹿児島医療技術専門学校】[皮膚科全般 3/3（2018.6.18：M2）]
- ・【久木田学園看護専門学校】[皮膚科全般（2018.11.30）]

<河井一浩>

- ・【新潟大学医学部講義】[皮膚リンパ腫（2018.4.10：M4）]
- ・【医学部】[湿疹・皮膚炎（2018.6.4：M4）]
- ・【医学部】[湿疹・皮膚炎（2018.9.18：M3）]

XII. 社会活動

<金蔵拓郎>

- ・ 鹿児島県感染症発生動向調査企画委員
- ・ 鹿児島県特定疾患認定委員
- ・ 最高裁判所専門委員
- ・ 鹿児島県 ATL 制圧委員会研究推進部会委員
- ・ 大阪地方裁判所損害賠償請求事件鑑定人
- ・ 本格焼酎部会会員
- ・ 焼酎発酵副産物研究会会員
- ・ 福岡地方裁判所平成 19 年（ワ）第 309 号 損害賠償請求事件専門委員
- ・ 鹿児島県医師会評議員
- ・ 財団法人親和会評議員
- ・ 鹿児島大学医学部創立 70 周年・西洋医学開講 150 周年記念事業実行委員長
- ・ カネミ油症検診
- ・ 鹿児島大学医学部医師会理事
- ・ 鹿児島県アレルギー疾患医療連絡協議会委員

XIII. 文部省科学省科学研究費等取得

- 1) 『CD147/basigin の Th 細胞分化と乾癬病態形成に関する包括的研究』
金蔵拓郎（代表）基盤研究（C）：442 万円
- 2) 『遺伝子組換えシルクによる創傷治療』
金蔵拓郎 共同研究
- 3) 『桜島産椿油の皮膚浸透性に関する基礎』
金蔵拓郎 共同研究
- 4) 『好中球機能からみた炎症性皮膚疾患の病態解明とその治療法の確立』
東 裕子（代表）基盤研究（C）：468 万円
- 5) 『乾癬における microRNA の役割と病態解明』
東 裕子（代表）日本イーライリリー株式会社研究助成：50 万円
- 6) 『核内受容体をターゲットとした HDAC 阻害剤の併用療法の開発』
藤井一恭（代表）基盤研究（C）：468 万円
- 7) 『末梢血 TCRV $\delta 1+\gamma \delta$ T 細胞の CD107a 発現に着目した円形脱毛症の病態解明』
内田洋平（代表）若手研究：416 万円
- 8) 『尋常性白斑におけるメラノサイト-T 細胞間ストレス応答の解析』
内田洋平（代表）ノバルティスファーマ株式会社研究助成：50 万円
- 9) 『Orchestrated cytotoxic and skin migratory ability lacking self-tolerance: circulating $\gamma \delta$ T-cells may promote alopecia areata.』
内田洋平（代表）International Investigative Dermatology 2018 travel grant：10 万円
- 10) 『円形脱毛症患者の末梢血細胞障害性 T 細胞の機能解析』
内田洋平（代表）マルホ株式会社奨学寄付支援プログラム：100 万円
- 11) 『IL-13 産生 T 細胞の分化機構とアトピー性皮膚炎の治療ターゲットとしての可能性』
指宿敦子（代表）ノバルティスファーマ株式会社研究助成：50 万円
- 12) 『IL-13 産生 T 細胞の分化機構とアトピー性皮膚炎の治療ターゲットとしての可能性』
指宿敦子（代表）鹿児島大学若手研究者等育成プログラム：100 万円
- 13) 『Src 経路の制御による HDAC 阻害剤併用療法の可能性』
地村 望（代表）若手研究：416 万円
- 14) 『表皮内における IL-13 産生 T 細胞の分化誘導シグナルの解明』
河井一浩（代表）基盤研究（C）：442 万円
- 15) 『Induction of keratin 1 and keratin 10 expression by topical glucose in a mouse model of atopic dermatitis and in keratinocyte culture: A possible role of glucose in skin barrier repair.』
山田きよ子（代表）International Investigative Dermatology 2018 travel grant：10 万円

XIV. 特 許

- 1) 『加水分解フィブロインを含む軟膏及びその製造法』
金蔵拓郎、西 博人 出願番号：2014-121441 出願日：2014年6月12日
実用新案登録2018年7月20日

XV. 受 賞

【神崎賞】多田 浩一 [平成30年4月14日授与]

XVI. 学位取得者

- 1) 『Silk fibroin produced by transgenic silkworms overexpressing the Arg-Gly-Asp motif accelerates cutaneous wound healing in mice.』
(Transgenic RGD シルクフィブロインは創傷治癒を促進する)
Journal of Biomedical Materials Research: Part B – Applied Biomaterials. IN PRESS (2018)
馬場淳徳：総研第470号 博士(医学) [平成30年8月20日授与]
- 2) 『Comparison of oxidative stress on DNA, protein, and lipid in patients with actinic keratosis, Bowen's disease, and squamous cell carcinoma.』
(日光角化症、ボーエン病、有棘細胞癌におけるDNA、蛋白、脂質に対する酸化ストレスの比較検討)
Journal of Dermatology. IN PRESS (2019)
吉福明日香：総研第491号 博士(医学) [平成31年2月26日授与]
- 3) 『Inhibition of Inflammatory Cytokines and Induction of Myeloid-Derived Suppressor Cells by the Effects of Granulocyte and Monocyte Adsorption Apheresis.』
(顆粒球除去療法による炎症性サイトカインの抑制と骨髄由来免疫抑制細胞の誘導)
Therapeutic Apheresis and Dialysis. 21(6) : 628-634 (2017)
坂ノ上正直：総研第504号 博士(医学) [平成31年3月25日授与]

XVII. 専門医取得者

ナ シ

XVIII. 教室員の動向

- 【教 授】 金蔵拓郎
- 【准 教授】 東 裕子
- 【診療准教授】 藤井一恭
- 【講 師】 内田洋平
- 【診療講師】 多田浩一
- 【助 教】 指宿敦子 畠中美帆 馬場直子
- 【医 員】 山筋好子 (2018.7~2018.10) 馬場淳徳 (2018.12 迄) 坂ノ上正直 (2018.11 迄)
有村亜希子 (2019.2~) 地村 望 (2019.1~) 川平尚生
松岡温子 (2019.3~) 野元裕輔 大久保 葵
稲津恵理 (2019.1.21 迄)
- 【大学院生】 山筋好子 馬場淳徳 (2018.8 迄) 吉福明日香 (2019.2 迄)
坂ノ上正直 地村 望 野元裕輔
- 【部内研究生】 な し
- 【部外研究生】 寺崎祐太郎
- 【研修登録医】 な し
- 【客員研究員】 河井一浩 藤原義博 山田きよ子
- 【医 局 長】 多田浩一
- 【病棟医長】 馬場直子
- 【外来医長】 畠中美帆
- 【出 向 者】 三好逸男：今給黎総合病院 児浦純生：高田病院 (2018.5 迄)
西馬場理恵：鹿児島市立病院 馬場淳徳：鹿児島市立病院 (2019.1~)
久留光博：鹿児島県立大島病院 勝江浩未：春陽会中央病院
- 【外国留学】 な し
- 【国内留学】 な し
- 【外国人留学生】 な し

【外国人帰国者】 な し

【退 局 者】 坂ノ上正直

【退 職 者】 な し

【新規就職者】 稲津（沼田）恵理

【出産・育児休暇・休職】 山筋好子（2018.7.27 迄・2018.11～） 有村亜希子（2019.2.8 迄）
地村 望（2019.1.30 迄） 松岡温子（2019.3.3 迄）
稲津恵理（2019.1.22～）

2019 (H31) 年 4 月～2020 (R2) 年 3 月

I. 著 書

【欧文著書】

ナ シ

【和文著書】

- 1) GMA/アフェレシス治療
金蔵拓郎
最新キーワードで読み解く All About 皮膚科学 : 76-77 (2019.6)
- 2) 結節性紅斑
藤井一恭
今日の治療指針 2020 年版 (Volume 62) : 1283-1284 (2020.1)

Ⅱ. 総 説

【欧文総説】

- 1) Next-Generation Sequencing Technologies for Early-Stage Cutaneous T-Cell Lymphoma.
Fujii K, Kanekura T.
Front. Med. (Lausanne). 6: 181 (2019.8)

【和文総説】

- 1) 脱毛症の免疫学的病態
内田洋平、金蔵拓郎
日本皮膚免疫アレルギー学会雑誌 2 (2) : 287-294 (2019.4)

Ⅲ. 原 著

【欧文原著】

- 1) The Association of Peroxiredoxin 4 with the Initiation and Progression of Hepatocellular Carcinoma.
Guo X, Noguchi H, Ishii N, Homma T, Hamada T, Hiraki T, Zhang J, Matsuo K, Yokoyama S, Ishibashi H, Fukushige T, Kanekura T, Fujii J, Uramoto H, Tanimoto A, Yamada S.
Antioxid. Redox. Signal. 30(10): 1271-1284 (2019.4)
- 2) Generation of the heterogeneity of extracellular vesicles by membrane organization and sorting machineries.
Harada Y, Suzuki T, Fukushige T, Kizuka Y, Yagi H, Yamamoto M, Kondo K, Inoue H, Kato K, Taniguchi N, Kanekura T, Dohmae N, Maruyama I.
Biochim. Biophys. Acta. Gen. Subj. 1863(4): 681-691 (2019.4)
- 3) Does nicotine effectively protect against hand - foot syndrome?
Kanekura T.
J. Cutan. Immunol. Allergy. 2(2): 57 (2019.4)
- 4) E-cadherin loss in RMG-1 cells inhibits cell migration and its regulation by Rho GTPases.
Haraguchi M, Fukushige T, Kanekura T, Ozawa M.
Biochem. Biophys. Rep. 18: 100650 (2019.5)
- 5) Clinical and histopathological characteristics and survival analysis of 4594 Japanese patients with melanoma.
Fujisawa Y, Yoshikawa S, Minagawa A, Takenouchi T, Yokota K, Uchi H, Noma N, Nakamura Y, Asai J, Kato J, Fujiwara S, Fukushima S, Uehara J, Hoashi T, Kaji T, Fujimura T, Namikawa K, Yoshioka M, Murao N, Ogata D, Matsuyama K, Hatta N, Shibayama Y, Fujiyama T, Ishikawa M, Yamada D, Kishi A, Nakamura Y, Shimiauchi T, Fujii K, Fujimoto M, Ihn H, Katoh N.
Cancer. Med. 8(5): 2146-2156 (2019.5)
- 6) Amoxicillin sensitization rate in patients with eruptions after *Helicobacter pylori* eradication therapy.
Kawai K.
J. Allergy. Clin. Immunol. 143(5): 1975-1976 (2019.5)
- 7) Classification of 3097 patients from the Japanese melanoma study database using the American joint committee on cancer eighth edition cancer staging system.
Fujisawa Y, Yoshikawa S, Minagawa A, Takenouchi T, Yokota K, Uchi H, Noma N, Nakamura Y, Asai J, Kato J, Fujiwara S, Fukushima S, Uehara J, Hoashi T, Kaji T, Fujimura T, Namikawa K, Yoshioka M, Murata N, Ogata D, Matsuyama K, Hatta N, Shibayama Y, Fujiyama T, Ishikawa M, Yamada D, Kishi A, Nakamura Y, Shimiauchi T, Fujii K, Fujimoto M, Ihn H, Katoh N.
J. Dermatol. Sci. 94(2): 284-289 (2019.5)
- 8) Therapeutic Efficacy of Etrretinate on Cutaneous-type Adult T-cell Leukemia-Lymphoma.
Yonekura K, Takeda K, Kawakami N, Kanzaki T, Kanekura T, Utsunomiya A.
Acta. Derm. Venereol. 99(9): 774-776 (2019.7)

- 9) Long-term efficacy and safety of bexarotene for Japanese patients with cutaneous T-cell lymphoma: The results of a phase 2 study (B-1201).
Hamada T, Tokura Y, Sugaya M, Ohtsuka M, Tsuboi R, Nagatani T, Kiyohara E, Tani M, Setoyama M, Matsushita S, Kawai K, Yonekura K, Saida T, Iwatsuki K.
J. Dermatol. 46(7): 557-563 (2019.7)
- 10) Application of high-mannose-type glycan-specific lectin from *Oscillatoria Agardhii* for affinity isolation of tumor-derived extracellular vesicles.
Yamamoto M, Harada Y, Suzuki T, Fukushige T, Yamakuchi M, Kanekura T, Dohmae N, Hori K, Maruyama I.
Anal. Biochem. 580: 21-29 (2019.9)
- 11) Cutaneous pseudolymphoma with rhinophyma-like lesion.
Oginezawa M, Kawai K.
J. Dermatol. 46(9): e335-e337 (2019.9)
- 12) Pincer nail deformity in a patient with Kawasaki disease.
Kanekura T.
J. Dermatol. 46(10): e350-e351 (2019.10)
- 13) The expression of cell adhesion molecule 1 and its splicing variants in Sézary cells and cell lines from cutaneous T-cell lymphoma.
Yamaguchi M, Morizane S, Hamada T, Miyake T, Sugaya M, Iwata H, Fujii K, Haramoto-Shiratsuki R, Nakagawa Y, Miura M, Ohshima K, Morishita K, Takahashi T, Imada M, Okada K, Uehara J, Sowa-Osako J, Iwatsuki K.
J. Dermatol. 46(11): 967-977 (2019.11)
- 14) Prominent dermal Langerhans cells in an Omenn syndrome patient with a novel mutation in the IL2RG gene.
Ibusuki A, Nishikawa T, Hiraki T, Okano T, Imai K, Kanegane H, Ohnishi H, Kato Z, Fujii K, Tanimoto A, Kawano Y, Kanekura T.
J. Dermatol. 46(11): 1019-1023 (2019.11)
- 15) Numbers of forkhead box P3-positive cells and programmed cell death 1-positive cells were associated with spontaneous regression in a patient with primary cutaneous diffuse large B-cell lymphoma with multiple lesions.
Fujii K, Uchida Y, Hatanaka M, Jimura N, Okubo A, Sakanoue M, Higashi Y, Kawabata H, Kanekura T.
J. Dermatol. 46(11): e410-e412 (2019.11)
- 16) Type D lymphomatoid papulosis associated with chemotherapy/chemoradiotherapy-induced severe chronic lymphocytopenia.
Uchida Y, Okubo A, Hayashida M, Inoue H, Tamura H, Fujii K, Ishitsuka K, Kanekura T.
J. Dermatol. 46(11): e412-e414 (2019.11)
- 17) Eruptive squamous cell carcinoma in a patient treated with concomitant pembrolizumab and imiquimod.
Kanekura T, Arimura A, Kirishima M, Tanimoto A.
J. Dermatol. 46(12): 1202-1204 (2019.12)
- 18) Acne vulgaris with false-positive signals on 18 F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography-computed tomography in a patient with a yolk sac tumor.
Okubo A, Fujii K, Tada KI, Higashi Y, Hirohata Y, Osako Y, Eura R, Yoshino H, Nakagawa M, Kanekura T.
J. Dermatol. 47(1): e33-e34 (2020.1)

- 19) Tissue-resident macrophages can be generated de novo in adult human skin from resident progenitor cells during substance P-mediated neurogenic inflammation ex vivo.
Gherardini J, Uchida Y, Hardman JA, Chéret J, Mace K, Bertolini M, Paus R.
PLoS. One. 15(1): e0227817 (2020.1)
- 20) Idiopathic cutaneous T - cell pseudolymphoma with prominent granulomatous reaction
Iwai Y, Ibusuki A, Kawai K.
J. Cutan. Immunol. Allergy. 3(1): 19-20 (2020.2)
- 21) Granulomatous/sarcoid-like reactions in the setting of programmed cell death-1 inhibition: a potential mimic of disease recurrence.
Hiraki T, Hatanaka M, Arimura A, Kawahira H, Kirishima M, Kitazono I, Horinouchi M, Higashi M, Kanekura T, Tanimoto A.
J. Cutan. Pathol. 47(2): 154-160 (2020.2)
- 22) Mycobacterium tuberculosis infection in psoriatic patients treated with biologics: Real-world data from 18 Japanese facilities.
Kaneko S, Tsuruta N, Yamaguchi K, Miyagi T, Takahashi K, Higashi Y, Morizane S, Nomura H, Yamaguchi M, Hino R, Sawada Y, Nakamura M, Ohyama B, Ohata C, Yonekura K, Hayashi H, Yanase T, Matsuzaka Y, Sugita K, Kikuchi S, Mitoma C, Nakahara T, Furue M, Okazaki F, Koike Y, Imafuku S; Western Japan Inflammatory Disease Research Group.
J. Dermatol. 47(2): 128-132 (2020.2)
- 23) Late-onset interstitial nephritis in a patient with drug-induced hypersensitivity syndrome/drug reaction with eosinophilia and systemic symptoms.
Higashi Y, Baba N, Yoshimine H, Sakaguchi I, Kanekura T.
J. Dermatol. 47(2): 174-177 (2020.2)
- 24) Novel AP3B1 compound heterozygous mutations in a Japanese patient with Hermansky-Pudlak syndrome type 2.
Nishikawa T, Okamura K, Moriyama M, Watanabe K, Ibusuki A, Sameshima S, Masamoto I, Yamazaki I, Tanita K, Kanekura T, Kanegane H, Suzuki T, Kawano Y.
J. Dermatol. 47(2): 185-189 (2020.2)
- 25) Patient with oral lichen planus successfully treated with irsogladine maleate.
Katsue H, Higashi Y, Hatanaka M, Kanekura T.
J. Dermatol. 47(2): e56-e57 (2020.2)
- 26) Cutaneous lymphoma in Japan, 2012-2017: A nationwide study.
Fujii K, Hamada T, Shimauchi T, Asai J, Fujisawa Y, Ihn H, Katoh N.
J. Dermatol. Sci. 97(3): 187-193 (2020.3)

【和文原著】

- 1) 【膿疱をきたす疾患】臨床例 capillary leak syndrome の併発を疑った膿疱性乾癬
地村 望、東 裕子、金蔵拓郎
皮膚病診療 41 (8) : 717-720 (2019.8)
- 2) 胃 Kaposi 肉腫につづき皮膚 Kaposi 肉腫がみられた AIDS の 1 例
大久保葵、東 裕子、畠中美帆、藤井一恭、古川良尚、金蔵 拓郎
Skin Cancer 34 (3) : 234-237 (2019)

IV. その他

- 1) 【解説】皮膚疾患におけるガイドラインの位置づけ
山田裕道、清島真理子、金蔵拓郎、池田志孝
日本アフェレシス学会雑誌 38 (3) : 179-183 (2019.10)

V. 学会発表

【国際・特別（招請）講演】

ナ シ

【国際・一般講演】

ナ シ

【国際・教育講演】

ナ シ

【国際・シンポジウム】

- 1) Granulocyte and monocyte adsorption apheresis for psoriatic arthritis.
Kanekura T.
The 12th World Congress of International Society for Apheresis 2019
The 40th Annual Meeting of Japanese Society for Apheresis
October 17-20, 2019 Kyoto, Japan
- 2) 〈Guideline Session〉 Japanese apheresis guidelines for the management and treatment of generalized pustular psoriasis, pustulosis palmoplantaris and psoriasis arthropathica.
Hatanaka M, Higashi Y, Kanekura T.
The 12th World Congress of International Society for Apheresis 2019
The 40th Annual Meeting of Japanese Society for Apheresis
October 17-20, 2019 Kyoto, Japan

【国際・ワークショップ】

ナ シ

【国際・セミナー】

ナ シ

【国際・一般演題】

- 1) MicroRNA as a disease marker of neutrophilic skin disease.
Higashi Y, Yamakuchi M, Fukushige T, Hashiguchi T, Kanekura T.
49th Annual Meeting of the European Society for Dermatological Research
September 18-21, 2019 Bordeaux, France

- 2) Selection of suitable cases for random skin biopsy for the diagnosis for intravascular large B cell lymphoma.
Fujii K, Hatanak M, Higashi Y, Kanekura T.
EORTC CLTF Meeting 2019
September 26-28, 2019 Athens, Greece

- 3) MicroRNA and granulocyte and monocyte adsorption apheresis on neutrophilic skin diseases.
Higashi Y, Yamakuchi M, Kanekura T.
The 12th World Congress of International Society for Apheresis 2019
The 40th Annual Meeting of Japanese Society for Apheresis
October 17-20, 2019 Kyoto, Japan

- 4) Epstein-Barr virus positive mucocutaneous ulcer accompanied with B-chronic lymphocytic leukemia.
Fujii K, Hatanaka M, Higashi Y, Kanekura T.
4th World Congress of Cutaneous Lymphomas
February 12-14, 2020 Barcelona, Spain

【国際・その他】

ナ シ

【国内・特別（招請）講演】

- 1) 皮膚疾患に対する顆粒球吸着除去療法 -All about GMA in Dermatology-
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
皮膚病態学アフェレシスフォーラム
2019年5月16日 大阪
- 2) 強皮症の臨床と病態
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
お茶の水会
2019年6月20日 東京
- 3) アダカラムと皮膚疾患
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
JIMRO 社内講演会
2019年7月19日 大阪
- 4) 強皮症の臨床と病態
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第11回東海皮膚免疫疾患研究会
2019年8月1日 名古屋
- 5) 私の皮膚科医生活と乾癬診療～負け犬の遠吠え編～
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
Powers seminar in nagasaki
2019年9月13日 長崎
- 6) 爪白癬と関連する疾患について
藤井一恭（鹿児島大学大学院皮膚科学）
みんなで地域医療を支えるための勉強会
2019年10月11日 鹿屋
- 7) 皮膚疾患に対する顆粒球吸着除去療法
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
北東北乾癬バイオセミナー
2019年10月26日 盛岡
- 8) 乾癬 バイオ治療の実際
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
大島郡医師会学術講演会
2019年12月6日 奄美
- 9) 湿疹？蕁麻疹？-鑑別すべき皮膚疾患
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
熊毛地区医師会学術講演会
2020年1月29日 西之表

【国内・一般講演】

ナ シ

【国内・教育講演】

- 1) 湿疹？蕁麻疹？？-鑑別すべき皮膚疾患-
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
大島病院皮膚疾患講演会
2019年4月8日 奄美
- 2) 鹿児島大学におけるグセルクマブの使用経験
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
社内研修会（大鵬薬品工業株式会社）
2019年4月10日 鹿児島
- 3) 鹿児島大学におけるグセルクマブの使用経験
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
社内勉強会（ヤンセンファーマ株式会社）
2019年5月9日 鹿児島
- 4) 化膿性汗腺炎について
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
社内研修会（エーザイ株式会社）
2019年5月17日 鹿児島
- 5) チーム医療で取り組む乾癬治療
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
徳島乾癬チーム医療懇話会
2019年6月19日 徳島
- 6) 目からウロコ！知っておこう乾癬
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
市民公開講座
2019年6月23日 鹿児島
- 7) 鹿児島大学におけるトルツ®の使用経験
東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
社内研修会（鳥居薬品株式会社）
2019年7月24日 鹿児島
- 8) コラボのすすめ
河井一浩（新潟医療生活協同組合木戸病院皮膚科）
新潟大学皮膚科カンファレンス
2019年9月25日 新潟
- 9) アトピー性皮膚炎の診療
指宿敦子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
社内研修会（サノフィ株式会社）
2019年11月7日 鹿児島
- 10) パッチテストについて
指宿敦子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第8回鹿児島アレルギー講習会 アレルギーの克服に向けて
2020年2月6日 鹿児島

【国内・シンポジウム】

- 1) 〈若手偏西風シンポジウム「躍進する若手研究者にスポットライトをあてる」〉
CARD11 機能喪失型点変異マウスにおけるアトピー性疾患発症機構の解析
野元裕輔^{1,2}、安川晋輔³、古江増隆³、原 博満²、金蔵拓郎¹
(¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同免疫学、九州大学皮膚科)
第 71 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2019 年 9 月 7～8 日 高知
- 2) 急速進行性糸球体腎炎と肺胞出血を伴った IgA 血管炎の 1 例
指宿敦子、藤井一恭、山田きよ子、有村亜希子、馬場直子、東 裕子、金蔵拓郎
(鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 49 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会
2019 年 11 月 29～12 月 1 日 横浜
- 3) PAI-1 欠損症：自験例と病態の考察
橋口照人¹、金蔵拓郎²、他 (¹鹿児島大学大学院血管代謝病態解析学、²同皮膚科学)
第 14 回日本止血血栓学会学術標準化委員会シンポジウム
2020 年 2 月 22 日 東京

【国内・ワークショップ】

ナ シ

【国内・セミナー】

- 1) 〈モーニングセミナー〉乾癬の難治部位に対する生物学的製剤の有用性を再考する
東 裕子 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 118 回日本皮膚科学会総会
2019 年 6 月 6～9 日 名古屋
- 2) 〈ランチョンセミナー〉本邦における皮膚リンパ腫の現状
藤井一恭 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 70 回日本皮膚科学会中部支部学術大会
2019 年 10 月 5～6 日 金沢
- 3) EORTC Cutaneous Lymphoma Task Force (EORTC CLTF) 2019 からのトピックス
藤井一恭 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
ミノファージェン製薬 Web ライブセミナー
2019 年 11 月 13 日 東京

【国内・一般演題】

- 1) 2018 年鹿児島大学病院皮膚科外来、紹介患者、パッチテスト統計
畠中美帆、稲津恵理、大久保 葵、野元裕輔、松岡温子、川平尚生、有村亜希子、
坂ノ上正直、馬場直子、馬場淳徳、山筋好子、指宿敦子、内田洋平、多田浩一、
西馬場理恵、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 183 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2019 年 4 月 14 日 鹿児島

- 2) 2018年鹿児島大学病院皮膚科入院患者統計
馬場直子、稲津恵理、大久保 葵、野元裕輔、松岡温子、川平尚生、有村亜希子、
坂ノ上正直、畠中美帆、馬場淳徳、山筋好子、指宿敦子、内田洋平、多田浩一、
西馬場理恵、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第183回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2019年4月14日 鹿児島
- 3) 2018年鹿児島大学病院皮膚科手術統計・死亡統計
指宿敦子、馬場直子、大久保 葵、野元裕輔、松岡温子、川平尚生、有村亜希子、
畠中美帆、山筋好子、西馬場理恵、多田浩一、内田洋平、藤井一恭、東 裕子、
金蔵拓郎（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第183回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2019年4月14日 鹿児島
- 4) ツツガムシ病の3例
大久保 葵¹、多田浩一¹、川平尚生¹、畠中美帆¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、
持富勇次²、金蔵拓郎¹（¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²南さつま市）
第183回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2019年4月14日 鹿児島
- 5) 川崎病患者にみられた爪甲横溝と pincer nail deformity
有村亜希子¹、馬場直子¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、関山光弘²、金蔵拓郎¹
（¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²日置市）
第183回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2019年4月14日 鹿児島
- 6) 春陽会中央病院への出向を終えて
勝江浩未（春陽会中央病院皮膚科）
第183回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2019年4月14日 鹿児島
- 7) 県立大島病院への出向を終えて
久留光博（県立大島病院皮膚科）
第183回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2019年4月14日 鹿児島
- 8) 鹿児島市立病院への出向を終えて
西馬場理恵（鹿児島市立病院皮膚科）
第183回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2019年4月14日 鹿児島
- 9) 平成31年度鹿児島大学大学院医歯学総合研究科感覚器病学講座皮膚科学分野教室の体制
多田浩一（鹿児島大学大学院皮膚科学）
第183回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
2019年4月14日 鹿児島

- 10) 〈研究演題〉機能プロテオミクスによる新規皮膚悪性リンパ腫治療法の開発
 地村 望¹、藤井一恭¹、小山理恵子²、喬 志偉²、紀藤房子²、近藤 格²、金蔵拓郎¹
 (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²国立がんセンター研究所希少がんセンター)
 第 183 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
 2019 年 4 月 14 日 鹿児島
- 11) B 細胞リンパ腫との composite lymphoma を疑った菌状息肉症の 1 例
 安齋 理¹、齋藤勇輝¹、会沢敦子¹、阿部理一郎¹、河井一浩² (¹新潟大学皮膚科、
²新潟医療生活協同組合木戸病院皮膚科)
 第 35 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
 2019 年 5 月 24～25 日 神戸
- 12) 無治療の慢性リンパ性白血病に合併した EBV 陽性粘膜皮膚潰瘍
 藤井一恭 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第 35 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
 2019 年 5 月 24～25 日 神戸
- 13) HIV 感染に合併した肛門管癌の 1 例
 川平尚生¹、大久保 葵²、有村亜希子²、馬場直子²、多田浩一²、藤井一恭²、
 東 裕子²、金蔵拓郎²
 (¹春陽会中央病院皮膚科、²鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第 35 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
 2019 年 5 月 24～25 日 神戸
- 14) 経過中に皮膚病変が出現した胃 Kaposi 肉腫の 1 例
 大久保 葵¹、島中美帆¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、古川良尚²、金蔵拓郎¹
 (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同脳神経内科)
 第 35 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
 2019 年 5 月 24～25 日 神戸
- 15) 皮膚リンパ腫 全国症例数調査の結果 (2018 年版)
 藤井一恭^{1,5}、島内隆寿^{2,5}、浅井 純^{3,5}、藤澤康弘^{4,5}、尹 浩信⁶、加藤則人^{3,5}
 (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²浜松医科大学、³京都府立医科大学、⁴筑波大学、
⁵皮膚がん予防統計委員会、⁶熊本大学)
 第 35 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
 2019 年 5 月 24～25 日 神戸
- 16) 悪性黒色腫調査結果 (2018 年報告)
 藤澤康弘^{1,2}、浅井 純²、島内隆寿²、藤井一恭²、加藤則人²、尹 浩信²
 (¹筑波大学皮膚科、²日本皮膚悪性腫瘍学会皮膚がん予防統計委員会)
 第 35 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
 2019 年 5 月 24～25 日 神戸

- 17) 日本皮膚悪性腫瘍学会予後統計委員会で集積した本邦における悪性黒色腫症例 4594 例の解析
藤澤康弘^{1,2,3}、浅井 純^{2,3,4}、島内隆寿^{2,3,5}、藤井一恭^{2,3,6}、加藤則人^{2,3,4}、尹 浩信^{2,3,7}
(¹筑波大学皮膚科、²日本皮膚悪性腫瘍学会皮膚がん予防統計委員会、³Japanese Melanoma Study、⁴京都府立医科大学、⁵浜松医科大学、⁶鹿児島大学大学院皮膚科学、⁷熊本大学)
第 35 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
2019 年 5 月 24～25 日 神戸
- 18) 皮膚科を受診した進行期非メラノーマ皮膚がんの全国調査
藤澤康弘^{1,2}、舩越 建³、浅井 純^{2,4}、島内隆寿^{2,5}、藤井一恭^{2,6}、加藤則人^{2,4}、尹 浩信^{2,7} (¹筑波大学皮膚科、²日本皮膚悪性腫瘍学会皮膚がん予防統計委員会、³慶應義塾大学、⁴京都府立医科大学、⁵浜松医科大学、⁶鹿児島大学大学院皮膚科学、⁷熊本大学)
第 35 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
2019 年 5 月 24～25 日 神戸
- 19) AJCC 新病期分類第 8 版による日本人悪性黒色腫 3097 症例の分類
藤澤康弘^{1,2,7}、浅井 純^{2,3,7}、島内隆寿^{2,4,7}、藤井一恭^{2,5,7}、加藤則人^{2,3,7}、尹 浩信^{2,6,7}
(¹筑波大学皮膚科、²日本皮膚悪性腫瘍学会皮膚がん予防統計委員会、³京都府立医科大学、⁴浜松医科大学、⁵鹿児島大学大学院皮膚科学、⁶熊本大学、⁷Japanese Melanoma Study)
第 118 回日本皮膚科学会総会
2019 年 6 月 6～9 日 名古屋
- 20) Watermelon stomach を伴った抗 RNA ポリメラーゼ III 抗体陽性全身性強皮症の 1 例
馬場淳徳、藤井一恭、勝江浩未、多田浩一、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 118 回日本皮膚科学会総会
2019 年 6 月 6～9 日 名古屋
- 21) 環状の紅斑を呈した ATL の 4 例
勝江浩未¹、多田浩一¹、大久保 葵¹、有村亜希子¹、馬場淳徳¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、河井一浩²、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²新潟医療生活協同組合木戸病院皮膚科)
第 118 回日本皮膚科学会総会
2019 年 6 月 6～9 日 名古屋
- 22) 抗癌治療に伴うリンパ球減少症の回復期に生じたリンパ腫様丘疹症 D 型の 1 例
大久保 葵¹、内田洋平¹、林田真衣子²、井上大栄²、田村浩子³、藤井一恭¹、東 裕子¹、石塚賢治²、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同血液・膠原病内科、³同呼吸器内科)
第 118 回日本皮膚科学会総会
2019 年 6 月 6～9 日 名古屋
- 23) Primary cutaneous marginal zone lymphoma (PCMZL) の 1 例
中嶋万実¹、河井一浩¹、佐藤信輔¹、久保田葉子²、石黒卓朗³
(¹新潟医療生活協同組合木戸病院皮膚科、²燕市、³新潟県立がんセンター新潟病院血液内科)
日本皮膚科学会新潟地方会第 394 回例会
2019 年 6 月 29 日 新潟

- 24) 川崎病治療中に急性汎発性発疹性膿胞症を発症した 1 例
 山田佳奈¹、池田尚弘¹、馬場淳徳²、久保田知洋¹、櫛木大祐¹、新小田雄一¹、
 楠生 亮¹、野村祐一¹、鮫島幸二¹
 (¹ 鹿児島市立病院小児科、² 同皮膚科)
 令和元年度第 1 回臨床研修医症例発表会 (鹿児島市立病院)
 2019 年 7 月 1 日 鹿児島
- 25) 甲状腺癌治療後に消退した環状紅斑の 1 例
 山田きよ子¹、指宿敦子¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、宇宿一成²、金蔵拓郎¹
 (¹ 鹿児島大学大学院皮膚科学、² 指宿市)
 第 184 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2019 年 7 月 7 日 鹿児島
- 26) オラネジン®による接触皮膚炎の 1 例
 馬場淳徳、地村 望、西馬場理恵 (鹿児島市立病院皮膚科)
 第 184 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2019 年 7 月 7 日 鹿児島
- 27) 尋常性天疱瘡加療中に肺塞栓症を発症し先天性プロテイン S 欠乏症が判明した 1 例
 有村亜希子¹、多田浩一¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、坂口郁代²、金蔵拓郎¹
 (¹ 鹿児島大学大学院皮膚科学、² 済生会川内病院皮膚科)
 第 184 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2019 年 7 月 7 日 鹿児島
- 28) 放射線が誘因と考えられる皮膚がんの 2 例
 勝江浩未¹、上塘葉子¹、稲津恵理¹、大久保 葵¹、畠中美帆¹、馬場淳徳¹、馬場直子¹、
 多田浩一¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、橋口貴樹²、金蔵拓郎¹
 (¹ 鹿児島大学大学院皮膚科学、² 南九州市)
 第 184 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2019 年 7 月 7 日 鹿児島
- 29) 〈皮膚非結核性抗酸菌症の 2 例
 上塘葉子、畠中美帆、指宿敦子、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎
 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第 184 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2019 年 7 月 7 日 鹿児島
- 30) 卵管内膜症の 1 例
 馬場直子、多田浩一、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第 184 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2019 年 7 月 7 日 鹿児島
- 31) 川崎病患者にみられた爪甲横溝と pincer nail deformity
 多田浩一、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第 43 回日本小児皮膚科学会学術大会
 2019 年 7 月 20～21 日 さいたま

- 32) 好中球性皮膚疾患における microRNA の関与
東 裕子¹、山口宗一²、福重智子¹、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同血管代謝病態解析学)
第 34 回日本乾癬学会学術大会
2019 年 8 月 30～31 日 京都
- 33) 治療に難渋している小児膿疱性乾癬の 1 例
大久保 葵¹、指宿敦子¹、稲津絵恵理¹、馬場淳徳¹、馬場直子¹、西馬場理恵²、藤井一恭¹、東 裕子¹、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²鹿児島市立病院皮膚科)
第 34 回日本乾癬学会学術大会
2019 年 8 月 30～31 日 京都
- 34) 免疫チェックポイント阻害剤投与中に生じた異物肉芽腫の 1 例
山田きよ子、有村亜希子、指宿敦子、多田浩一、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎
(鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 71 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2019 年 9 月 7～8 日 高知
- 35) 足趾潰瘍を契機に本態性血小板血症の診断に至った 1 例
有村亜希子¹、馬場直子¹、多田浩一¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、橋口貴樹²、金蔵拓郎¹
(¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²南九州市)
第 71 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2019 年 9 月 7～8 日 高知
- 36) 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症患者に生じた Mycobacterium immunogenum 感染症の 1 例
上塘葉子、畠中美帆、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
第 71 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
2019 年 9 月 7～8 日 高知
- 37) 非典型的な経過をたどるアレルギー性接触皮膚炎-新規消毒薬オラネジン®による 1 例-
谷口大河、馬場淳徳 (鹿児島市立病院皮膚科)
令和元年度第 2 回臨床研修医症例発表会 (鹿児島市立病院)
2019 年 10 月 18 日 鹿児島
- 38) High concentration of glucose induces filaggrin-1 expression through activating AP-1 in human skin keratinocyte cultures.
Yamada K^{1,2}、Yamada M³、Wan S³、Matsushita K^{2,3}、Kanekura T¹ (¹The Department of Dermatology, Kagoshima University, Kagoshima, Japan, ²Department of Longevity Oral Science, Kasohima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Kagoshima, Japan, ³Department of Oral Disease Research, National Center for Geriatrics and Gerontology, Obu, Japan)
The 44th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology
November 8-10, 2019 Aomori, Japan

- 39) Analysis of the onset mechanism of atopic disorders in mice with a loss-of-function CARD11 mutation.
 Nomoto Y¹, Yasukawa S², Furue M², Hara H³, Kanekura T¹ (¹The Department of Dermatology, University of Kagoshima, Kagoshima, Japan, ²The Department of Dermatology, University of Kyusyu, Fukuoka, Japan, ³The Department of Immunology, University of Kagoshima, Kagoshima, Japan)
 The 44th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology
 November 8-10, 2019 Aomori, Japan
- 40) Analysis of the onset mechanism of atopic disorders in mice with a loss-of-function CARD11 mutation.
 Nomoto Y¹, Yasukawa S², Furue M², Hara H³, Kanekura T¹ (¹The Department of Dermatology, University of Kagoshima, Kagoshima, Japan, ²The Department of Dermatology, University of Kyusyu, Fukuoka, Japan, ³The Department of Immunology, University of Kagoshima, Kagoshima, Japan)
 第 33 回表皮細胞研究会
 2019 年 11 月 23 日 東京
- 41) 遅発性に間質性腎炎を生じた薬剤性過敏症候群の 1 例
 馬場直子¹、東 裕子¹、藤井一恭¹、坂口郁代²、吉嶺陽仁³、金蔵拓郎¹
 (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²済生会川内病院皮膚科、³鹿児島大学大学院腎臓内科学)
 第 49 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会
 2019 年 11 月 29～12 月 1 日 横浜
- 42) 類天疱瘡の初回治療としてのドキシサイクリン内服療法の有用性
 木村浄土¹、河井一浩¹、佐藤信輔¹、岩井由樹²、荻根沢真帆子²、中嶋万実²、久保田葉子³ (¹新潟医療生活協同組合木戸病院皮膚科、²新潟大学皮膚科、³燕市)
 日本皮膚科学会新潟地方会第 396 回例会
 2019 年 12 月 7 日 新潟
- 43) Hypomorphic CARD11 mutation developed inflammatory atopic disorders in mice.
 Nomoto Y¹, Yasukawa S², Lizasa E³, Matsumoto S³, Furue M², Kanekura T¹, Hara H³ (¹The Department of Dermatology, University of Kagoshima, Kagoshima, Japan, ²The Department of Dermatology, University of Kyusyu, Fukuoka, Japan, ³The Department of Immunology, University of Kagoshima, Kagoshima, Japan)
 The 48th Annual Meeting of The Japanese Society for Immunology
 December 11-13, 2019 Hamamatsu, Japan
- 44) Mobile encapsulated lipoma の 1 例
 上塘葉子、指宿敦子、有村亜希子、馬場直子、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎
 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第 185 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2019 年 12 月 15 日 鹿児島
- 45) Other iatrogenic immunodeficiency-associated lymphoproliferative disorder の 2 例
 勝江浩未¹、藤井一恭¹、上塘葉子¹、馬場直子¹、東 裕子¹、高木博佑²、川畑 久³、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²同血液・膠原病内科、³薩摩川内市)
 第 185 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2019 年 12 月 15 日 鹿児島

- 46) 皮膚浸潤を伴った急性単球性白血病の1例
 畠中美帆¹、馬場淳徳¹、沼田恵理¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、橋口貴樹²、金蔵拓郎¹
 (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²南九州市)
 第185回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2019年12月15日 鹿児島
- 47) 若年性落葉状天疱瘡の1例
 山田きよ子¹、有村亜希子¹、指宿敦子¹、馬場直子¹、多田浩一¹、藤井一恭¹、
 東 裕子¹、宮内秀明²、金蔵拓郎¹ (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²霧島市)
 第185回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2019年12月15日 鹿児島
- 48) 卵黄囊腫瘍患者におけるPET/CTで偽陽性信号を伴った尋常性ざ瘡の1例
 馬場直子、大久保葵、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学大学院皮膚科学)
 第185回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2019年12月15日 鹿児島
- 49) Episodic angioedema with eosinophilia の1例
 指宿敦子¹、東 裕子¹、山田きよ子¹、稲津恵理¹、大久保葵¹、有村亜希子¹、
 馬場淳徳^{1,2}、馬場直子¹、西馬場理恵^{1,2}、藤井一恭¹、金蔵拓郎¹
 (¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²鹿児島市立病院皮膚科)
 第185回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2019年12月15日 鹿児島
- 50) 全眼球運動障害、眼球突出を呈した右顔面三叉神経第1枝領域帯状疱疹
 久留光博¹、丸山芳一²、栗岡隆弘³、友寄英士³ (¹今給黎総合病院皮膚科、
²同脳神経内科、³同眼科)
 第185回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2019年12月15日 鹿児島
- 51) 現時点での今給黎総合病院移転計画についての報告
 久留光博 (今給黎総合病院皮膚科)
 第185回日本皮膚科学会鹿児島地方会
 2019年12月15日 鹿児島
- 52) A hypomorphic CARD11 mutation develops inflammatory atopic disorders in mice.
 野元裕輔 (鹿児島大学大学院皮膚科学、同免疫学)
 第13回桜ヶ丘地区基礎系研究発表会
 2020年2月6日 鹿児島
- 53) CD147/Basigin regulates Th17 cell differentiation and contributes to the pathogenesis of psoriasis.
 Okubo A¹, Uchida Y¹, Higashi Y¹, Kadomatsu K², Kanekura T¹. (¹Department of Dermatology,
 Kagoshima University, ²Department of Biochemistry, Nagoya University.)
 第11回日本研究皮膚科学会きさらぎ塾
 2020年2月13～16日 日光

【国内・その他】

1) 乾癬について

東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
〈lilly mail 用動画コンテンツ〉（日本イーライリリー株式会社）

2019年5月23日 鹿児島

2) 〈日本皮膚科学会「キャリア支援委員会」企画：メンター&メンティーの相談会（M&M）〉
自分をブラッシュアップする～先輩皮膚科医からのヒント～

東 裕子¹、中原真希子²、矢田美央³、広瀬晴奈¹
（¹鹿児島大学大学院皮膚科学、²九州大学皮膚科、³徳島大学皮膚科、⁴大分大学皮膚科）
第71回日本皮膚科学会西部支部学術大会

2019年9月7～8日 高知

3) 乾癬について

東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
〈座談会〉（ノバルティスファーマ株式会社）

2019年11月4日 東京

4) 皮膚科領域における疾患と治療について

東 裕子（鹿児島大学大学院皮膚科学）
鹿児島県国民健康保険団体連合会審査課職員への研修会

2019年11月14日 鹿児島

VI. 社会への貢献（マスメディア等）

【テレビ】

ナ シ

【ラジオ】

ナ シ

【新聞】

ナ シ

【その他のメディア】

ナ シ

VII. 学会・講演会などの開催

【学会】

- 1) 第 183 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
鹿児島大学医学部鶴陵会館 2019年4月14日
- 2) 第 184 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
鹿児島大学医学部鶴陵会館 2019年7月7日
- 3) 第 185 回日本皮膚科学会鹿児島地方会
TKP ガーデンシティ鹿児島中央 2019年12月15日

【学術講演会】

- 1) 馬淵 智生（東海大学医学部専門診療学系皮膚科学教授）
「乾癬治療における生物学的製剤の使い分け」
（共催）日本皮膚科学会鹿児島地方会・鳥居薬品株式会社 日本イーライリリー株式会社
2019年4月14日
- 2) 新井 達（聖路加国際病院皮膚科部長）
「剤形を駆使した配合外用剤による乾癬外用治療戦略」
（共催）日本皮膚科学会鹿児島地方会・協和発酵キリン株式会社
2019年4月14日
- 3) 原田 和俊（東京医科大学皮膚科学分野准教授）
「治癒を目指す爪白癬治療-新たな選択肢ホスラブコナゾールをどう使うか-」
（共催）日本皮膚科学会鹿児島地方会・佐藤製薬株式会社・エーザイ株式会社
2019年7月7日
- 4) 多田 弥生（帝京大学医学部皮膚科学講座主任教授）
「乾癬の皮疹と関節炎の臨床症状に応じた治療を考える」
（共催）日本皮膚科学会鹿児島地方会・鳥居薬品株式会社・日本イーライリリー株式会社
2019年12月15日

VIII. 学会活動

<金蔵拓郎>

- ・ 日本研究皮膚科学会（理事）
- ・ 鹿児島膠原病研究会（世話人）
- ・ 日本皮膚科学会（雑誌委員・西部支部運営委員会・代議員・西部支部学術委員）
- ・ 米国研究皮膚科学会
- ・ 日本生化学会
- ・ 日本免疫学会
- ・ 日本癌学会
- ・ 日本アレルギー学会
- ・ 日本リウマチ学会
- ・ 日本形成外科学会九州地方会
- ・ 日本リンパ網内系学会
- ・ 日本熱傷学会九州地方会
- ・ 鹿児島異種移植研究会（世話人）
- ・ 日本乾癬学会（理事）
- ・ 日本アフェレシス学会（評議員）
- ・ 鹿児島アレルギー懇話会（世話人）
- ・ 皮膚脈管・膠原病研究会（世話人）
- ・ 南九州腫瘍研究会（世話人）
- ・ 日本皮膚悪性腫瘍学会（理事）
- ・ 鹿児島県性感染症研究会（世話人）
- ・ 鹿児島地区皮膚疾患病態治療研究会（代表世話人）
- ・ 鹿児島皮膚アレルギー研究会（代表世話人）
- ・ 鹿児島皮膚疾患の治療を語る会（代表世話人）
- ・ 鹿児島救急医学会（評議員）
- ・ **The Open Dermatology Journal, Editorial Board Member**
- ・ 第 10 回日中合同皮膚科学術会議組織委員
- ・ 表皮細胞研究会（監事）
- ・ 日本褥瘡学会九州地方会（世話人）
- ・ 日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会（評議員）
- ・ **Journal of Dermatological Science, Editorial Board**
- ・ 日本皮膚科学会膿疱性乾癬診療ガイドライン改定委員会委員
- ・ 日本アフェレシス学会雑誌編集委員
- ・ 日本研究皮膚科学会推薦委員
- ・ 第 18 回国際ヒトレトロウイルス HTLV 会議組織委員
- ・ 第 42 回 JSID Abstract 査読

<東 裕子>

- ・ キャリア支援委員会委員
- ・ 日本皮膚科学会西部支部（代議員）
- ・ 日本研究皮膚科学会（評議員・ダイバーシティ委員会委員）

<藤井一恭>

- 日本研究皮膚科学会（評議員）
- 九州真菌懇話会（施設幹事）
- 日本電気泳動学会（評議員）
- 皮膚悪性腫瘍学会（評議員・皮膚がん予後統計委員会委員）
- 日本癌治療学会・協力委員

<河井一浩>

- 日本皮膚科学会
- 日本研究皮膚科学会（評議員）
- 日本皮膚悪性腫瘍学会（評議員）
- 日本免疫学会
- The Society for Investigative Dermatology
- International Society for Cutaneous Lymphomas
- 日本臨床皮膚科医会
- The American Association of Immunologists
- 日本皮膚免疫アレルギー学会（代議員・監事）
- J.Dermatol. (Section Editor)

IX. Journal Review

<金蔵拓郎>

- ・ Acta.Dermatovenereological. / J.Dermatol. (2 編)

<東 裕子>

- ・ J.Dermatol. / J.Dermatol.Sci. / 日本皮膚科学会雑誌

<藤井一恭>

- ・ Eur.J.Dermatol. / J.Dermatol. (4 編) / J.Dermatol.Sci. / Front. Med.

<内田洋平>

- ・ Dermatologic. Ther. / J.Dermatol.Sci. (3 編)

<河井一浩>

- ・ J.Dermatol. (53 編) / J.Dermatol.Sci. (2 編)

X. 学内活動

<金蔵拓郎>

- ・ 医学部共同利用研究棟運営委員
- ・ 教員の評価に関する制度検討委員会委員
- ・ 研究フォーラム・インフォメーションオフィスメンバー
- ・ セカンドオピニオン外来担当医
- ・ 卒後臨床研修部研修管理委員会委員
- ・ 感覚器センター長
- ・ 医学部副学部長
- ・ 学位審査委員 (主査・2 件、副査・1 件)
- ・ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野教授選考委員

XI. 学生講義

<金蔵拓郎>

- ・【医学部】[膠原病の皮膚症状 (2019.4.4 : M4)]
- ・【宮崎大学講義】[皮膚症状からみる膠原病 (2019.12.6 : M3)]

<東 裕子>

- ・【共通教育】[がんはなぜおこるのか (2019.4.25)]
- ・【医学部】[水疱症、角化症 (2019.7.18 : M3)]
- ・【医学部】[総合講義：国試対策 (2019.7.25 : M6)]
- ・【医学部】[感染症 (2020.1.21 : M3)]

<藤井一恭>

- ・【医学部】[皮膚の悪性リンパ腫 (2019.4.10 : M4)]
- ・【医学部】[皮膚悪性腫瘍 (2019.7.19 : M3)]
- ・【医学部】[皮膚の悪性リンパ腫 (2019.12.20 : M3)]

<内田洋平>

- ・【歯学部】[アレルギー疾患、皮膚テスト (2019.6.17 : M5)]
- ・【歯学部】[試験監督 (2019.7.22 : M5)]
- ・【医学部】[発疹学・検査 (2019.7.23 : M3)]
- ・【医学部】[感覚・皮膚 試験監督 (2019.7.29 : M3)]
- ・OSCE (2019.9.3)
- ・【医学部】[縫合実習 (2019.9.30 : M4)]
- ・OSCE (2019.10.15)
- ・【共通教育】[健康を守り、作る (2019.11.6)]
- ・【医学部】[発生・発達チュートリアル (2019.12.3 : M3)]
- ・【医学部】[発生・発達チュートリアル (2019.12.9 : M3)]

<多田浩一>

- ・【歯学部】[水疱症、ベーチェット病 (2019.6.24 : M5)]
- ・【医学部】[母斑、母斑症、血管腫、皮膚良性腫瘍 (2019.7.17 : M3)]
- ・OSCE (2019.9.18)
- ・【看護】[総論 (2019.11.12 : M2)]
- ・【医学部】[感染症チュートリアル (2019.1.28 : M3)]

<指宿敦子>

- ・【歯学部】[皮膚の構造・機能 先天性疾患 (2019.6.10 : M5)]
- ・【医学部】[炎症性皮膚疾患 (2019.7.18 : M3)]
- ・【医学部】[縫合実習 (2019.10.2 : M4)]

<畠中美帆>

- ・【歯学部】[膠原病、感染症（2019.7.1：M5）]
- ・【医学部】[皮膚の構造・機能（2019.7.17：M3）]
- ・OSCE（2019.9.18）
- ・【看護】[各論(Ⅱ)（2019.12.3：M2）]
- ・【医学部】[総合試験 試験監督（2019.12.10：M6）]
- ・【医学部】[感染症チュートリアル（2020.1.20：M3）]
- ・【医学部】[感染症チュートリアル（2020.1.27：M3）]

<馬場直子>

- ・【歯学部】[腫瘍性疾患（2019.7.8：M5）]
- ・OSCE（2019.10.15）
- ・【看護】[各論(Ⅰ)（2019.11.26：M2）]

<野元裕輔>

- ・OSCE（2019.9.18）

<上塘葉子>

- ・【鹿児島医療技術専門学校】[皮膚科全般 1/3（2019.6.3：M2）]
- ・【鹿児島医療技術専門学校】[皮膚科全般 2/3（2019.6.10：M2）]
- ・【鹿児島医療技術専門学校】[皮膚科全般 3/3（2019.6.17：M2）]
- ・【野田女子高等学校】[成人看護学-皮膚（前半）（2019.7.4：M2）]
- ・【野田女子高等学校】[成人看護学-皮膚（後半）（2019.7.11：M2）]

<河井一浩>

- ・【新潟大学医学部講義】[皮膚リンパ腫（2019.4.5：M4）]
- ・【医学部】[湿疹・皮膚炎（2019.7.22：M3）]

XII. 社会活動

<金蔵拓郎>

- ・ 鹿児島県感染症発生動向調査企画委員
- ・ 鹿児島県特定疾患認定委員
- ・ 最高裁判所専門委員
- ・ 鹿児島県 ATL 制圧委員会研究推進部会委員
- ・ 大阪地方裁判所損害賠償請求事件鑑定人
- ・ 本格焼酎部会会員
- ・ 焼酎発酵副産物研究会会員
- ・ 福岡地方裁判所平成 19 年（ワ）第 309 号 損害賠償請求事件専門委員
- ・ 鹿児島県医師会評議員
- ・ 財団法人親和会評議員
- ・ 鹿児島大学医学部創立 70 周年・西洋医学開講 150 周年記念事業実行委員長
- ・ カネミ油症検診
- ・ 鹿児島大学医学部医師会理事
- ・ 鹿児島県アレルギー疾患医療連絡協議会委員

XIII. 文部省科学省科学研究費等取得

- 1) 『CD147/basigin の Th 細胞分化と乾癬病態形成に関する包括的研究』
金蔵拓郎（代表）基盤研究（C）：442 万円
- 2) 『遺伝子組換えシルクによる創傷治療』
金蔵拓郎 共同研究
- 3) 『HDAC 阻害剤によるチロシンキナーゼの活性化と CTCL の新規治療への応用』
藤井一恭（代表）基盤研究（C）：429 万円
- 4) 『末梢血 TCRV $\delta 1+\gamma \delta$ T 細胞の CD107a 発現に着目した円形脱毛症の病態解明』
内田洋平（代表）若手研究：416 万円
- 5) 『痒疹の発症における皮膚 $\gamma \delta$ T 細胞の役割～2 型・17 型免疫応答の協働～』
指宿敦子（代表）若手研究：429 万円
- 6) 『表皮内における IL-13 産生 T 細胞の分化誘導シグナルの解明』
河井一浩（代表）基盤研究（C）：442 万円

XIV. 特 許

ナ シ

XV. 受 賞

【神崎賞】馬場 淳徳 [平成 31 年 4 月 13 日授与]

【Asia apheresis academy award (The 12th World Congress of International Society for Apheresis 2019)】

東 裕子 [令和元年 10 月 20 日授与]

XVI. 学位取得者

ナ シ

XVII. 専門医取得者

ナ シ

XVIII. 教室員の動向

- 【教 授】 金蔵拓郎
- 【准 教 授】 東 裕子
- 【診療准教授】 藤井一恭
- 【講 師】 内田洋平
- 【診療講師】 多田浩一
- 【助 教】 指宿敦子 畠中美帆 馬場直子
- 【医 員】 山田きよ子 西馬場理恵 山筋好子 (2019.12～)
勝江浩未 有村亜希子 野元裕輔
大久保 葵 上塘葉子 (2019.12 迄)
- 【大学院生】 山筋好子 地村 望 (2019.9 迄) 野元裕輔
大久保 葵
- 【部内研究生】 な し
- 【部外研究生】 寺崎祐太郎
- 【研修登録医】 な し
- 【客員研究員】 河井一浩
- 【医 局 長】 多田浩一
- 【病棟医長】 馬場直子
- 【外来医長】 畠中美帆
- 【出 向 者】 久留光博：今給黎総合病院 三好逸男：高田病院
馬場淳徳：鹿児島市立病院 地村 望：鹿児島市立病院 (2019.8.25 迄)
松岡温子：鹿児島県立大島病院 川平尚生：春陽会中央病院
上塘葉子：今村総合病院 (2020.1～)
- 【外国留学】 な し
- 【国内留学】 な し
- 【外国人留学生】 な し

【外国人帰国者】 な し

【退 局 者】 西馬場理恵 地村 望

【退 職 者】 な し

【新規就職者】 山田きよ子 上塘葉子

【出産・育児休暇・休職】 山筋好子（2019.11 迄） 地村 望（2019.8.26～）
稲津恵理（2019.1.22～）